

国立国語研究所学術情報リポジトリ

日本語でだいじょうぶ シナリオ集

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-04-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003538

日本語教育映像教材 初級編

日本語でだいじょうぶ

シナリオ集

国立国語研究所

日本語教育映像教材 初級編

日本語でだいじょうぶ

シナリオ集

国立国語研究所

刊行のことば

国立国語研究所日本語教育センターでは、外国人に対する日本語教育に役立てるため、平成5年度から7年度に、ビデオ教材『日本語教育映像教材初級編「日本語でだいじょうぶ」』全4ユニットを作成しました。この『シナリオ集』をはじめとする関連教材シリーズは、そのビデオ本体を有効に利用するための資料として発行するものです。

『シナリオ集』は、ビデオ本体に描かれた場面状況、映像・音声の内容に関する注記などを含む教授者向けの「解説」の部分と、せりふ内容を文字化した「学習者用シナリオ」とからなっており、この教材を利用するための基礎的な資料として作成されています。

この『シナリオ集』の編集は、次の者が担当しました。

中道真木男（日本語教育センター日本語教育教材開発室長）

土井真美（日本語教育センター日本語教育教材開発室

客員研究員）

本書が視聴覚教育のための資料として有効に活用されることを期待します。

平成8年3月

国立国語研究所長

水谷修

「日本語でだいじょうぶ」

シナリオ集

〈目 次〉

解 説	1
『日本語教育映像教材 初級編	
「日本語でだいじょうぶ」について	3
‘セグメント’と‘ストーリー’	4
ストーリー展開と人物	8
学習者用シナリオ	19
(ユニット1) セグメント 1 20 セグメント 2 22	
セグメント 3 25 セグメント 4 28	
セグメント 5 31 セグメント 6 34	
セグメント 7 37 セグメント 8 39	
セグメント 9 41 セグメント 10 44	
(ユニット2) セグメント 11 47 セグメント 12 48	
セグメント 13 50 セグメント 14 53	
セグメント 15 55 セグメント 16 58	
セグメント 17 60 セグメント 18 62	
セグメント 19 64 セグメント 20 67	
(ユニット3) セグメント 21 69 セグメント 22 72	
セグメント 23 74 セグメント 24 76	
セグメント 25 78 セグメント 26 79	
セグメント 27 82 セグメント 28 84	
セグメント 29 86 セグメント 30 88	
(ユニット4) セグメント 31 90 セグメント 32 92	
セグメント 33 95 セグメント 34 98	
セグメント 35 101 セグメント 36 102	
セグメント 37 105 セグメント 38 107	
セグメント 39 109 セグメント 40 111	
『日本語教育映像教材 初級編』作成関係者	113

解說

『日本語教育映像教材 初級編 「日本語でだいじょうぶ」』について

用途 『日本語教育映像教材初級編「日本語でだいじょうぶ」』は、特定の学習内容を扱ったものではなく、さまざまな視点から分析することによって多様な用途に使用することを想定して作られている。

この教材が対応しようとする最も主な学習内容は、(1)言語構造に関する知識を実際の言語使用場面の中で確認すること、(2)さまざまな場面状況の中のことばがどんな働きをするかを知ること、(3)ことばの運用を含めた適切な対人行動の例を観察すること、の3点であるが、その他にも、それぞれの学習者の状況に応じてさまざまな観点からこの映像を分析し、必要な情報を利用することができる。

この教材は、基本的に、教授者が選択・抽出した映像を学習者に提示しながら教授活動を行う形態で使用されることを想定している。コンピュータ等を使用して、この映像を用いた独習用プログラムを作成することも可能であり、今後、そのような形態の教材を試作することも検討されている。

対象学習者 この教材で使用する文法的項目は、既存の初級日本語教科書の多くが扱っている範囲におおむね限定されている。語彙の面では、機能語および用言等は、おおむね、初級範囲に限定されているが、名詞類等は、場面状況から必要なものが特に制限をせずに用いられている。

この教材が最も主な対象として想定する学習者レベルは、いわゆる初級の前半を終わって、基本的な文型等の半数以上を学習した段階である。

この段階では、知識として学習してきた言語形式を現実の場面に適用するための練習に本格的に取り組み、状況に応じた表現形式の選択を意識することもできるようになると思われる。この教材が提示する各種の場面とタスク、それらのタスクを遂行するストラテジー等を例として観察し、なんらかの状況を設定して学習者自身がタスクを遂行する練習活動に結びつけることが、最も基本的な使用法として想定される。

また、この教材は、初級段階で学習する主要な文法・語彙項目のうち、映像によって状況とともに提示されるのが有効であると考えられるものを含んでおり、こうした言語構造的項目の導入・復習に利用することもできる。

一方、サバイバル目的やごく早い段階の学習者に対しては、言語形式を分析的に扱うのではなく、状況と特定の形式を直接結びつけるやり方をとるなら

ば、利用が可能である。この教材が提示するさまざまな場面で用いられるせりふを「決まり文句」的に記憶するなどの形で、場面状況への対処を学習することが、言語形式の分析理解よりも、むしろ有用である学習者は少くないはずである。

さらに、中級以上の学習者にとっても、この教材が提示するような場面状況に対処するストラテジーの例を観察することは、社会文化行動の基本的な枠組みの意識化のために有効な学習となりうる。知識としては、ここで用いられているよりもさらに高度な言語形式を操ることができるととも、その適切な選択のためには、場面状況を構成している諸要因を正しく分析把握する能力と習慣が不可欠であり、単純化された状況例として、この教材の映像は、高いレベルの学習者にとっても、十分に有用である。

教材体系 この教材は、本体である映像と書籍形態の関連教材シリーズとから成り立っている。

本体映像は、4つのユニットから成り、各ユニットは10のセグメントを含んでいる。各セグメントの長さは平均3分で、全40セグメントの合計の長さは約120分である。発売形態は、各ユニットを上・下各5セグメント（約15分）ずつに分割した計8巻のビデオテープで、録画方式は、VHSの他、各方式に対応することが可能である。

映像の内容は、ドラマ形式の実写映像を基本としている。映像は、すべて観察対象としての言語使用および社会行動の例を描いたもので、それらに関する解説・ドリル課題等は含まれていない。出演者は、日本人および外国人で、使用言語はすべて日本語である。

関連教材シリーズは、平成7年（1995年）度刊行の本書「シナリオ集」および「語彙表」を含め、当面4種が予定されているが、平成8年（1996年）度以降の刊行内容の詳細は未定である。

‘セグメント’と‘ストーリー’

ユニット 各ユニットには、それぞれを一貫するテーマが設けられており、そのユニットに含まれる各セグメントは、このテーマに関連する談話例を中心構成されている。各ユニットのテーマは6ページの一覧表に示す通りである。4つのユニットのタイトルは、以下のとおりである。

ユニット1 よろしくお願ひします ユニット2 よくわかりました
ユニット3 とてもいいですね ユニット4 また会いましょう

ストーリー 全4ユニットを通じて、4つの‘ストーリー’が展開される。各ストーリーは、それぞれ決まった主人公を中心に、それぞれゆるい連続性のある物語として4ユニットの中に順次配置されている。各ストーリーは、それぞれ人間関係を異にする登場人物の間での言語使用や伝達行動を描いており、それぞれの人間関係に現れることの多い種類の談話例を取り上げている。具体的な内容は、以下に解説する。4つのストーリーのタイトルは、以下のとおりである。

ストーリーI 勉強 ストーリーII 友達
ストーリーIII 仕事 ストーリーIV 恋人

映像素材 各ユニットに1セグメントずつ、‘映像素材’と呼ぶセグメントが含まれている。これらのセグメントは、上記の各ストーリーには含まれない。せりふ内容等の言語形式を提示することを最小限におさえ、画面からの視覚情報のみを切り離して学習に利用することを目的としている点で共通するが、内容としては相互に関連はない。具体的な内容は、以下に解説する。

音声チャンネルの分離使用 この教材の音声は、基本的にはモノラルで、主音声（左チャンネル）と副音声（右チャンネル）には同じ音声が録音されているが、映像素材のいくつか、および、他のセグメントのうちの必要箇所で、主音声・副音声の2チャンネルに別々の音声が録音された部分がある。電話場面で、一方の話し手の発話が主音声、他方が副音声に録音されており、両チャンネルを同時に再生して会話例として用いたり、一方のチャンネルのみを再生して他方の発話内容を推測させたりする使い方が想定されている場合や、画面の実況音に対するナレーションなどが副音声に録音されており、画面情報のみを提示してそれを言語化することを中心とした学習活動に利用することが想定されている場合などがある。

ユニット別セグメント一覧

ユニット 1 よろしくお願ひします

主に、接触の開始、特に、初めての相手との接触の開始のしかた、互いに関する基本的な情報の求め方・与え方、親しくなるための談話などを描く

セグメント	タイトル・サブタイトル	所属ストーリー
1	遅刻 — 尋ねる —	[I (a)]
2	新しい友達 — お礼を言う —	[II (a)]
3	忙しい一日 — 指示する —	[III (a)]
4	日本ははじめてです — 紹介する —	[I (b)]
5	この次は来月 — 約束する —	[III (b)]
6	ぼくがおごります — 親しくなる —	[II (b)]
7	私の町	[映像素材(a)]
8	待ち合わせ — おしゃべり —	[I (c)]
9	プチトマト！ — 買物 —	[II (c)]
10	お魚はちょっと — いっしょに作る —	[II (d)]

ユニット 2 よくわかりました

あるタスクを遂行するために必要な情報の求め方・教え方や、事情を話して相談し、解決方法を決めるやりかたといった「情報」のやりとりに重点を置く

セグメント	タイトル・サブタイトル	所属ストーリー
11	川で — 出会う —	[IV (a)]
12	船に乗ってみますか — 案内する —	[III (c)]
13	お茶にします — アドバイス —	[II (e)]
14	お礼状？ — 教わる —	[I (d)]
15	実は …… — 報告する —	[III (d)]
16	よくわかりません — あきらめる —	[II (f)]
17	それでOK！ — 説明する —	[III (e)]
18	就職 — 様子を聞く —	[IV (b)]
19	校外学習 — 話し合う —	[I (e)]
20	花火	[映像素材(b)]

ユニット 3 とてもいいですね

場面の性質や対人関係に応じて、適切なことばや非言語行動などを使い分ける‘待遇行動’としての伝達行動を中心に扱う

セグメント	タイトル・サブタイトル	所属ストーリー
2 1	海の底 — ことばで表す —	[II(g)]
2 2	少々お待ちください — 応接 —	[III(f)]
2 3	これはどうですか — 相談する —	[I (f)]
2 4	静かに！ — うわさ話 —	[I (g)]
2 5	卒業コンサート	[IV(c) ・ 映像素材(c)]
2 6	ふりそで — 教わる —	[I (h)]
2 7	ソフトカウチか — 敬語 —	[III(g)]
2 8	お祝いです — 贈り物 —	[IV(d)]
2 9	私の原稿は — 行き違い —	[II (h)]
3 0	さよならですか — 伝える —	[IV(e)]

ユニット 4 また会いましょう

意志・感情・希望など、主観的な内容を適切なやり方で表現することを含めて、総合的なコミュニケーションの適切な方法を学習する

セグメント	タイトル・サブタイトル	所属ストーリー
3 1	うまく書けました — 筆で書く —	[I (i)]
3 2	お通夜 — 気持ちを表す —	[II (i)]
3 3	いやだよねえ — あいづち —	[III(h)]
3 4	すれ違い — 事情を話す —	[IV(f)]
3 5	子供部屋	[映像素材(d)]
3 6	インタビュー — 聞き手と話し手 —	[I (j)]
3 7	まだ痛いですか — お見舞い —	[IV(g)]
3 8	夢なんです — 希望を述べる —	[II (j)]
3 9	決めました — 決意を述べる —	[II (k)]
4 0	これからも…… — 退院 —	[IV(h)]

ストーリー展開と人物

この教材で設定されている4つのストーリーと映像素材の内容は、以下の
ようなものである。

ストーリー I

勉 強

日本語学校の学生・張と仲間たちの学生生活を軸に、いろいろなエピソードが展開する。ことばや文化に関するやりとりが多く現れる。

{主な登場人物} 張 玉萍 中国人、日本語学校学生

パチャリー・ラタナーウン タイ人、張の同級生

ミーチャ ロシア人、張の同級生

後藤紀子 日本語学校教師

武田芳子 会社勤め、張の保証人の娘

(ユニット 1) 張は、大学受験の準備のために日本語学校に通う就学生。担任は、後藤先生で、同級生にパチャリーらがいる。来日の際に保証人を引き受けてくれた武田氏の娘・芳子とは、たびたび会ってショッピングなどを楽しむ仲。

(a) セグメント 1 遅刻 — 尋ねる — 11月中旬の月曜日。学校に遅れそうな張は、急いで駅に向かうが、見知らぬ女性に道をきかれ、貴重な時間を取られてしまう。駅の通路に来ると、発車のベルが聞こえる。あわてて階段を駆け上ると、ベルは隣のホーム。こちらのホームには電車が停車中。乗り込み、アナウンスを聞くと、この電車は方向違いで、しかも特急。乗り合わせた乗客に教わって乗り換えるが、遅刻。教室では、同級生たちが「冬休みの旅行」の作文を書きはじめていた。

(b) セグメント 4 日本ははじめてです — 紹介する — 11月下旬になって、張のクラスに新しい学生クレイグが加わった。質問攻めにする同級生たち。その日、パチャリーは気分が悪く、授業を抜けて医務室へ。

(c) セグメント 8 待ち合わせ — おしゃべり — 12月中旬の日曜日。いっしょにショッピングにでかける約束をした張と芳子は、喫茶店で待ち合わせ。歩きながら正月の予定など、おしゃべりに興じる。

(ユニット 2) 張の日本語学校生活は、2年目に入っている。

(d) セグメント14 お礼状? — 教わる — 9月のはじめ。張は、保証人の武田家を訪ね、夏休みに旅行で行った信楽のみやげを渡す。世話になった知人に礼状を出すように言われ、書き方についてアドバイスを受ける。

* 場面(2)で画面に表示される手紙の文面は、せりふ内容どおりで、礼状の要点を文字化したもの。

その節はありがとうございました
とても楽しかったです
遅くなつて失礼いたしました
写真ができたのでお送りします
またいつかおじゃましたいと思います
お元気で

(e) セグメント19 校外学習 — 話し合う — 10月中旬の水曜日。校外学習の計画について、クラスで話し合う。今年から同級生になったミーチャが、日光へ行くことを主張。張たちは、その提案に反論。パチャリーは水族館見学を提案する。

(ユニット 3) 大学の入学試験を間近に控えた張たちは、受験勉強に忙しい。

(f) セグメント23 これはどうですか — 相談する — 2月のある日。日本とアジアとの貿易について調べている張は、図書館の相談係に相談し、何冊かの参考書を紹介してもらう。

(g) セグメント24 静かに! — うわさ話 — 2月中旬のある日。張とパチャリーが図書館で勉強していると、ミーチャが入ってきて、後藤先生が突然外国へ行ってしまうとのこと。卒業まで後藤先生に教えてもらえると思っていた3人にはショック。大声を出すミーチャを図書館から連れ出し、パチャリーの発案で、送別会の相談をする。

* 場面(2)の最後、ビルの上の方を指さしながら話していると、しだいに通行人が立ち止まり、その方を見上げだす。5、6人の人ばかりになり、気付いた三人は、こっそり逃げ出す。通行人たちが散っていった後、ビルの横をUFOが飛ぶ。

(h) セグメント26 ふりそで — 教わる — 3月上旬のある日。大学への

入学が決まり、日本語学校の卒業を間近に控えた張とパチャリーは、卒業パーティで着る振り袖を選ぶため、芳子といっしょに貸衣装店を訪ねる。

(ユニット 4) 張、パチャリー、ミーチャは、それぞれ別の大学に進学している。

(i) セグメント 31 うまく書けました — 筆で書く — 9月初めの休日。書道を習う張、パチャリー、ミーチャ。

*場面(1)は、「永」の手本を書く沢村の筆先。場面(3)で、沢村は、草書というより、芸術的な作品としての「草花」を書く。画面では、書き上がった書の脇にテロップで楷書体の「草花」が表示される。

(j) セグメント 36 インタビュー — 聞き手と話し手 — 9月中旬の日曜日。張、パチャリー、ミーチャ、芳子の4人は、ハイキングに出かけ、川原でバーベキューをしている。3人に大学生活について尋ねる芳子。

*場面(2)で、芳子は、ニンジンをマイクに見立てて握っている。

ストーリー II 友達

留学生の王とその友人・山田、朴の付き合いを軸として展開するストーリー。親しい間柄での言語使用が中心となる。

{主な登場人物} 王 崇梁 中国人、教育行政専攻の南海大学研究生
山田 康浩 南海大学国語学科助手
朴 海煥 韓国人、南海大学大学院生、王の先輩
小川 明美 看護婦、山田のガールフレンド

(ユニット 1) 王は、来春大学院を受験するため、11月に来日、南海大学の研究生になったばかり。偶然、同じ南海大学国語学科助手の山田と知り合い、山田のガールフレンド・小川や大学院の先輩・朴らを交えて付き合うようになる。

(a) セグメント 2 新しい友達 — お礼を言う — 11月中旬の月曜日の朝。いつもとは違うルートで大学へ行こうとした王は、バスに乗るが、小銭の持ち合わせがなく、困ってしまう。その時バス代を出してくれた山田は、同じ南海大学の助手だった。互いのことを話すうち、親しくなっていく。

(b) セグメント 6 ぼくがおごります — 親しくなる — ボーナスをもら

った山田は、王をてんぷら屋に招待。ガールフレンドの小川を紹介する。王は、近いうちに中華料理を作つてごちそうすると約束。

(c) セグメント 9 プチトマト！ — 買物 — 12月中旬の金曜日。先日約束した中華料理パーティーのため、王、朴、山田、小川の4人は材料を買いに出かける。王と小川は八百屋で買い物。そこへ、手みやげを買いに行つた朴と山田が合流。そろってスーパーへ。買い物込んだ材料を持って、一同は、王のホームステイ先、荒木家へ。お母さんの出迎えを受ける。

(d) セグメント 10 お魚はちょっと — いっしょに作る — セグメント9の続き。料理をする一同。荒木家の娘、純子も学校から帰ってきて加わる。やがて、豪華な中華料理が完成。

(ユニット 2) 王は、無事に大学院に入学。山田の研究室にもしばしば訪ねてきている。

(e) セグメント 13 お茶にします — アドバイス — 9月上旬の水曜日。王は、山田の研究室を訪れ、話している。国語学科の3年生が入ってきて、後期の授業のとり方について、山田のアドバイスを求める。

(f) セグメント 16 よくわかりません — あきらめる — 9月中旬の日曜日。修士論文の執筆にかかっている朴は、ハングルの使えるワープロを探しに電器店へ。店員の勧める機種は朴の希望に合わない。結局ワープロでは無理なようだが、パソコンについての店員の説明は要領を得ず、朴は見切りをつけて立ち去る。

(ユニット 3) 王の大学院生活1年目は、終わりに近づいている。

(g) セグメント 21 海の底 — ことばで表す — 王、朴、山田、小川の4人は、水族館を訪れ、あれこれと見て回る。

*場面(3)、小川のせりふ中の「カレイ」「タコ」「ウナギ」に合わせ、それぞれ生きた状態とカレイの切り身、タコぶつ、ウナギの蒲焼きの映像が画面下半に示される。

(h) セグメント 29 私の原稿は — 行き違い — 3月中旬の金曜日夕刻。王は、教育学部の論文集に出す論文を見てくれるよう山田に頼む。自分も原稿を書かなければならない山田は、読み始めるのが翌週の火曜になると遠回しに断るが、火曜までに見てもらえるのだと思った王は、原稿を預けて行ってしまう。王の原稿の締切日は翌週水曜。火曜の夕方になってようやく行き

違いがわかり、二人は気まずい思いのまま別れる。

*場面(2)、山田の研究室のドアに、行先の表示が出ている。内容は、「います」「授業中」「会議中」「すぐもどります」「しばらくもどりません」「帰宅」で、「帰宅」にマグネットが付けられている。

(ユニット 4) 王は大学院修士課程の2年目。朴は、修士課程を終え、博士課程の1年目に入っている。

(i) セグメント32 お通夜 — 気持ちを表す — 9月初めのある日。早朝、まだ眠っている王に、朴から電話がかかり、二人が指導を受けている内田助教授が突然亡くなったとのしらせ。通夜の焼香に訪れた山田は、手伝いを申し出、セグメント29で気まずい別れ方をして以来、久しぶりに王とことばを交わす。問題の王の原稿は、印刷の途中で内田先生が直してくださったとのこと。指導教官を失った朴は途方に暮れる。

(j) セグメント38 夢なんです — 希望を述べる — 9月下旬の木曜日。内田先生の葬儀から半月ほどたっている。大学へ来た山田は王に出会い、後ほど研究室へ来るよう誘う。

(k) セグメント39 決めました — 決意を述べる — セグメント38の後、夕刻。研究室で待っている山田に王から電話。大学近くのスナック‘エスパワール’へ行くと、朴と王がいる。朴は、新しい指導教官を求めてアメリカへ行くことにしたという。

*場面(1)では、セグメント38の舞台となった並木道の映像に、王の電話の声が重なる。

ストーリー III 仕事

大学留学生のエレンたちが、アルバイト先の会社で経験するさまざまな場面を描く。改まった対人行動が要求される場面が中心となる。

{主な登場人物} エレン・ソウザ ブラジル人、大学留学生、アルバイトとして旅行社ヤングトラベルで働いている
サイモン・マッコイ オーストラリア人、大学留学生、
ヤングトラベルのアルバイト
クラウディア・ロッシ イタリア人、大学留学生、ヤングトラベルのアルバイト
谷山治男 ヤングトラベル企画課長
池田洋子 谷山の部下
江口徹 谷山の部下

(ユニット 1) サイモンとエレンは、大学留学生。旅行会社ヤングトラベルの企画課で長期アルバイトとして働いている。企画課の課長は谷山。その部下に池田、江口らがいる。

(a) セグメント 3 忙しい一日 — 指示する — 11月中旬の水曜日。始業時間にはまだ間がある。のんびりと出勤してきたサイモンだが、オフィスでは、課長以下一同が猛烈に仕事中。急な仕事が入ったとのこと。さっそく大量の作業を命じられてしまう。遅れてきた江口に仕事の報告を求めたり、作業の指示を出したりする谷山。午後4時すぎになって、ようやく作業は終わったが、ちょっとお茶を飲んで、まだまだ仕事は続くらしい。

(b) セグメント 5 この次は来月 — 約束する — 11月下旬の水曜日。谷山と池田は、ある県の観光旅館組合役員・伊原と用談。次回の約束をして送り出す。一人オフィスに残った江口は、ガールフレンドの桜井にこつそりと私用電話。エレンは、取引先との打ち合わせ日程を谷山に相談。電話をかけるが、相手は不在。留守番電話にメッセージを入れる。

※場面(2)は、主音声に江口の声、副音声に電話の相手の声が録音されている。

(ユニット 2) エレンは、ヤングトラベルでアルバイトを続けている。最近、クラウディアが仲間に加わった。

(c) セグメント 12 船に乗ってみますか — 案内する — 9月上旬のある日。池田は、日帰り旅行プランの下見のため、クラウディアを連れて‘東京ベイトピア’へ来ている。

(d) セグメント 15 実は…… — 報告する — 9月中旬の金曜日。ファックスが届き、予約してあった徳島のホテルから、予約金が期日までに支払われなかつたので、キャンセルとみなすとの連絡。担当の江口は、あわてて連絡をとるが、部屋はもう空いていない。おそるおそる課長の谷山に報告。ホテルは、池田が見つけてくれた高松に変更となる。

(e) セグメント 17 それでOK！ — 説明する — 9月中旬のある日の昼休み。エレンが一人オフィスに残って弁当を食べようとしているとき、バス会社、浅野交通へ打ち合せに行っている江口から電話。ファックスで浅野交通に資料を送るように言われる。ファックスを使ったことがないエレンは、原稿のセットのしかたをまちがえてしまう。

※場面(1)の電話の場面では、主音声にエレンの声、副音声に江口の声が録音されている。

(ユニット 3) ヤングトラベルでアルバイトを続けるエレンとクラウディア。

(f) セグメント22 少々お待ちください — 応接 — 2月中旬のある日。今日は、池田が外出していて不在。社内総務課の社員は、明日出なおすと言って帰っていく。取引先サクラツアーズの山内には、江口がかわって応対。課長の谷山が不在の間に、行きつけの飲み屋のおかみから電話がかかる。

(g) セグメント27 ソトかウチか — 敬語 — 3月中旬のある日。昼休みが終わろうとするころ、企画課が所属する販売促進部の部長が突然やってきて、エレンに谷山課長の所在を尋ねる。自分と谷山と部長との関係がわからず、だれにどう敬語を使うべきか迷うエレン。クラウディアといっしょに、居合わせた池田に問いただす。

※場面(2)の最後でエレンとクラウディアが池田に尋ねている内容は、以下のようなもの。

エレン 部長は、目上だし、課長も目上ですよね。それから、お客様も。お客様は、部長より上ですか。課長より部長の方が上だから、やっぱり「まいっております」とか言うんですか。だけど、なんか変ですね。

クラウディア 私たちはこの課にいるから、課長はウチの人でしょう。お客様はソトの人だから、いらっしゃいましたんですけど、部長はどうちなんですか。部長はソトで課長はウチなのか、私たちはアルバイトだから、私たちがソトなんでしょうか。

(ユニット 4) ヤングトラベルでアルバイトを続けるエレンとクラウディア。

(h) セグメント33 いやだよねえ — あいづち — ヤングトラベルでアルバイトをしているエレンとクラウディアが、仕事のことなどを話し合う。

ストーリーIV

恋 人

卒業・就職を控えた大学4年生の深沢と3年生の亜紀子との出会いから再会までを描く。主観的な内容の表現を中心に取り上げる。

{主な登場人物} 村井亜紀子 西北大学3年生

深沢 良昭 板橋経済大学4年生、大学の民謡研究会に
属し、歌手をめざすかたわら、就職活動中
宮田 愛 板橋経済大学1年生、民謡研究会で深沢の
後輩

(ユニット 2) 亜紀子は、西北大学3年生。板橋経済大学4年生の深沢と知り合い、付き合いはじめる。深沢は、大学の民謡研究会に入っていて、ひそかにプロの歌手をめざしているが、その一方で、卒業を前に就職活動中。北海道に本社のある広告会社・道南情報から内定をもらっている。

(a) セグメント11 川で — 出会う — 9月下旬の土曜日の朝。自転車で近くのコンビニエンスストアまで買い物に出た亜紀子は、通りかかった川原で「津軽山唄」の練習をする深沢を見かける。深沢は、この川原のボート乗り場でアルバイト中。夕方になって、川原へスケッチに出かけた亜紀子は、深沢と初めてことばを交わす。

*このセグメントも、映像素材として利用できるように、川原でさまざまな活動をする人々の映像を含んでいる。

(b) セグメント18 就職 — 様子をきく — 10月中旬の金曜日の夕方。川での出会いの後、深沢と亜紀子は何度かデートを重ね、恋人として付き合っている。内定先の道南情報の東京支店に顔を出してきた深沢は、デートの約束をした亜紀子を待っている。やや遅れて亜紀子が現れ、レストランで食事。亜紀子は、民謡歌手をあきらめようとする深沢に少々不満。それに、北海道の会社に就職したら、二人の付き合いはどうなるのか。

*このセグメントは、基本的に、深沢の視線でとらえた映像となっている。

(ユニット 3) 深沢は、大学を卒業して社会人に。就職先の本社は札幌だが、東京支店にいられるのか。深沢と亜紀子は不安な日々を過ごす。

(c) セグメント25 卒業コンサート [兼・映像素材(c)] 3月初めの金曜日夕刻。板橋経済大学民謡研究会は、卒業生の最後のステージとして演奏会を開く。深沢の演奏を聞くため駆けつける亜紀子。深沢の歌う「南部牛追唄」に聞き入る亜紀子の目に、雪解けから早春に向かう山野の風景が浮かぶ。映像素材として作られたセグメント。

*場面(2)は、主音声に深沢の歌う「南部牛追唄」、副音声に映像に伴う実況音が録音されている。

(d) セグメント 28 お祝いです — 贈り物 — 3月中旬のある日。深沢に卒業祝いを渡そうと、亜紀子は、民謡研究会の部室前で待っている。なんと言つて渡そうか考える亜紀子の前に、突然、深沢の後輩の1年生、宮田が現れ、無遠慮に二人のことを尋ねる。やがて現れた深沢にプレゼントを渡す亜紀子。

(e) セグメント 30 さよならですか — 伝える — 新学年に入った4月上旬のある日。深沢は道南情報に就職し、東京支店で研修中。亜紀子は、4年生に進級。深沢の退社時に待ち合わせた公園で、深沢は任地が札幌に決まったことを告げる。不安を隠せない亜紀子。数日後、任地に出発する深沢を、亜紀子は空港の片隅から見送る。

(ユニット 4) 深沢の北海道赴任以来、めったに会うこともできない深沢と亜紀子。

(f) セグメント 34 すれ違い — 事情を話す — 9月中旬のある日。深沢の東京出張を利用してデートの約束をした二人。待ち合わせ場所は、ショッピングモールの1階だが、地下1階から吹き抜けの広場があり、一見、地下1階が1階に見える。深沢は地下1階で待ち、その上の1階で待つ亜紀子に気付かない。あきらめて帰ろうとする亜紀子を見かけた深沢は、後を追う。大声で呼ぶが、イヤホーンで激しい音楽を聞いている亜紀子の耳には届かない。亜紀子を追って道に飛び出した深沢は、車にはねられる。

*このセグメント、主音声は映像に伴う実況音、副音声には、この場面の翌日の晩になって、深沢が入院先の病院から亜紀子にかけた電話の音声が録音されている。場面(4)の途中からは、両チャンネルとも、亜紀子のウォーキングステレオから流れる音楽。

(g) セグメント 37 まだ痛いですか — お見舞い — セグメント 34 の事故の翌々日。けがをした深沢は、入院中。大学の民謡研究会の友達から聞きつけた宮田が見舞いに来る。続いて、昨夜、深沢からの電話でようやく事情を知った亜紀子もやってくる。

(h) セグメント 40 これからも…… — 退院 — 9月下旬。事故から2週間ほどたって、深沢の退院の日。車で迎えに来た亜紀子は、東京と北海道に離れても信じていると、気持ちを告げる。

映像素材

(ユニット1) (a) セグメント7 私の町 12月中旬の雨が降る寒い日。「僕」は、1週間ほど家をあけ遊び歩いていたが、今日は、帰ってくるお母さんを駅で待ち受け、こっそり後をつけることにした。「僕」を探しながら家へ向かうお母さん。玄関の前まで来たところで、ニヤーとひと声。

*このセグメントは、基本的に、「僕」の視線からの映像。お母さんは、ストーリーⅡに登場する王のホームステイ先の主婦・荒木智恵子で、「僕」は荒木家の飼い猫。音声は、主音声が映像に伴う実況音、副音声は「僕」のひとりごと。

(ユニット2) (b) セグメント20 花火 9月中旬のある夜。バイクで旅行中の青年は、道に迷い、一軒の寺に泊めてもらう。その夜、女の子が現れ、二人は花火をする。翌朝、寺の仏壇を見ると、そこに昨夜の女の子の写真。

※このセグメントの音声は、主音声が映像に伴う実況音、副音声は青年の独白。

(ユニット3) (c) セグメント25 卒業コンサート [兼・IV 恋人(c)] ストーリーIV 恋人の一場面。3月はじめの金曜日夕刻。板橋経済大学民謡研究会卒業演奏会。深沢の歌う「南部牛追唄」に聞き入る亜紀子の目に浮かぶ早春の山野の風景。

*「ストーリーIV 恋人(c)」を参照。

(ユニット4) (d) セグメント35 子供部屋 ストーリーⅢに登場する池田洋子の家。夜8時すぎ。もう寝なければならないのに、男の子は、マンガを読んで起きている。セグメント20に登場した女の子の幽霊が現れ、男の子に気づいてもらおうと、いろいろないたずらをする。

学習者用シナリオ

※以下に掲載する「学習者用シナリオ」は、学習者が直接使用することを想定して、次のような基準で作成されている。

- 登場人物の説明は、そのセグメントの内容を理解するために必要な最小限にとどめた。また、場面状況の説明も、必要最小限にとどめた。
- ト書は、最小限必要なものを除き、削除した。なお、詳しいト書は、販売されているビデオテープに同梱の「利用の手引き」を参照のこと。
- せりふの表記に用いる漢字には、すべてふりがなを付した。使用する漢字については、「日本語能力試験」3級漢字表に含まれる文字をまったく含まない語は、原則としてかなで表記することとした。ただし、かな表記とすることによって強い違和感が生じると思われるものは、漢字を用いて表記した。
- ユニットおよびセグメントのタイトル、人物説明、場面説明等については、使用する漢字を制限せず、ふりがなを付した。
- せりふに含まれる文には、文番号を付した。文番号は、セグメントごとの通し番号とした。

セグメント 1 遅刻 — 尋ねる — (ストーリー I 「勉強」(a))

とうじょう じんぶつ ちょうぎょくへい ちゅうごくじん にほんごがっこうがくせい
登 場 人 物 張 玉 萍 (中国人, 日本語学校学生)

おばさん しゃしょう 車 掌 (アナウンス) じょうきやく 乗 客
ごとうのりこ にほんごがっこうきょうし がくせい
後藤紀子 (日本語学校教師) 学生たち

場面(1) 朝。駅への道。

おばさん -001 すみません。-002 あかまつしようはどこですか。

張 -003 あかまつしよう, ですか。

おばさん -004 ええ, ええ。

張 -005 さあ。

おばさん -006 このへんなんですけどねえ。

張 -007 あ, 小学校ですか。

おばさん -008 ええ, ええ, 赤松小。

張 -009 ああ, それじゃあ, あのかどを右にまがって, ……

おばさん -010 あのごみのところですか。

張 -011 はい, そうです。-012 少し行って, 左がわにあります。

おばさん -013 はい。-014 ありがとうございました。

場面(2) 駅。

場面(3) 電車の中。

アナウンス -015 毎度ご利用くださいまして、ありがとうございます。
す。-016 この電車は、特急橋本ゆきです。-017 つぎは、京王多摩
センターに止まります。-018 京王多摩センターのつぎは、終点橋
本です。

張 -019 あのう……,

乗客 -020 はい？

張 -021 つぎは、どこに止まりますか。

乗客 -022 ああ、つぎですか。-023 ええ、多摩センターでしょう。

張 -024 たません……。

乗客 -025 京王多摩センターです。

張 -026 府中は、止まりませんか。

乗客 -027 あ、府中は方向がちがいますよ。-028 ええと、調布での
りかえですね。

張 -029 調布ですね。-030 どうもありがとうございました。

場面(4) 日本語学校の教室。

張 -031 すみません……。

後藤 -032 張さん、どうしたんですか。

張 -033 あのう、電車をまちがえて……。

後藤 -034 ああ、そうですか。-035 それはたいへんでしたね。

セグメント 2 新しい友達 —お礼を言う—

(ストーリーⅡ「友達」(a))

とうじょう じんぶつ あたら ともだち
登 場 人 物 王 崇 梁 (中国人, 南海大学研究生)

やまだ やすひろ なんかいだいがくじょしゅ
山 田 康 浩 (南海大学助手) バスの運転手

場面(1) バス乗り場。

王 -001 あのう, ……。

山田 -002 はい。

王 -003 すいません, このバスは南海大学へ行きますか。

山田 -004 あ, た, よんにいというのが行きます。

王 -005 た, ですか。

山田 -006 あ, あの, 多いという字です。

王 -007 あ, 多いですか。-008 どうもありがとうございます。



場面(2) バスの中。^{なか}

王 -009 あのう、すいません、おつり、ありますか。

運転手 -010 ないですね。-011 こまかいのありませんか。

王 -012 はあ、これしかないんですけど。

運転手 -013 どなたか、^{いちまんえん}1万円、こまかくしていただけませんか。

山田 -014 あのう、これ、よかったですどうぞ。

王 -015 えっ、でも……。

山田 -016 いえ、いいですから。-017 どうぞ。

王 -018 そうですか。-019 じゃあ。-020 ありがとうございます。

山田 -021 いいえ。

王 -022 どうもありがとうございました。-023 たすかりました。

山田 -024 いいえ、いいんですよ。

王 -025 あのう、いつもこのバスですか。

山田 -026 ええ、まあ。

王 -027 あ、そうですか。-028 じゃ、^{こんど}今度、^{かね}お金を……。

山田 -029 いいですよ、もう。-030 気にしないでください。

王 -031 でも、そんな……。

山田 -032 あのう、南海大学の方ですか。

王 -033 ええ、今月から研究生になりました。

山田 -034 そうですか。-035 わたしも、南海で助手をしてるんです
よ。

王 -036 えっ、そうですか。

山田 -037 ええ。-038 国語学科の山田と言います。

王 -039 国語ですか。-040 わたくし、教育行政の王と申します。

山田 -041 じゃ、となりの建物だ。-042 今度、遊びに来てください
いよ。

王 -043 はい、ぜひ。-044 バス代を持って。

山田 -045 あ、いや、それはもういいですよ。-046 しつれいですけ
ど、お国は？

王 -047 中国です。

山田 -048 そうですか。-049 研究生ですか。-050 来年は、大学院
をうけるんですか。

王 -051 はい、そのつもりです。

山田 -052 教育行政って、どんなことするんですか。

セグメント 3 忙しい一日 — 指示する —

(ストーリーⅢ「仕事」(a))

登場人物 谷山治男 (ヤングトラベル企画課長)

サイモン・マッコイ (オーストラリア人, アルバイト)

エレン・ソウザ (ブラジル人, アルバイト)

池田洋子 (谷山の部下) 江口徹 (谷山の部下)

場面(1) 朝8時40分ごろ。ヤングトラベル企画課オフィス。

サイモン -001 おはようございます。

一同 -002 おはようございます。

谷山 -003 ああ、サイモンくん。

サイモン -004 おはようございます。

谷山 -005 おはよう。-006 ええと、池田さん、それはね、サイモン
君にたのんで。-007 で、池田さんはDMのリストをしらべてよ。

池田 -008 はい。-009 じゃ、サイモンさん。

サイモン -010 はい。

池田 -011 このパンフレット、急いで送ることになったんですよ。

サイモン -012 はい。

池田 -013 まず、ここにこのスタンプをおしてください。

サイモン -014 はい。-015 これ、どのくらいあるんですか。

池田 -016 ええと、700部だったかなあ。-017 がんばってね。

サイモン -018 はい。

場面(2) 10時9分すぎ。

江口 -019 おはようございまーす。

谷山 -020 江口くん。

江口 -021 あ、はい。

谷山 -022 チラシの原稿げんこう、どうなった？

江口 -023 いちおうもう、できます。

谷山 -024 できたものは、すぐに見せる。

江口 -025 すいません。-026 こんなかんじですけど。-027 あと、こ
こに写真しゃしんが入ります。

谷山 -028 ふうん。-029 写真しゃしんは？

江口 -030 今日きょう、とどきます。

谷山 -031 うん。-032 ごくろうさん。

場面(3) 午後1時37分。

谷山 -033 さてと、それは、もうできた？

サイモン -034 はい、できました。

池田 -035 エレンさん、

エレン -036 はい。

池田 -037 段ボールはどこですか。

エレン -038 はい、あそこで。

池田 -039 ああ、じゃあ、そこに持もってきてください。

エレン -040 はい。

谷山 -041 封筒は？

池田 -042 ええと、ここです。

谷山 -043 ラベルは できてるの？

池田 -044 はい、チェックしました。

谷山 -045 よし。-046 じゃあ、封筒に入れて、ラベルをはって。

池田 -047 はい。

場面(4) 午後4時24分。

江口 -048 ただいま帰りました。

谷山 -049 あ、ごくろうさま。-050 ああ、チラシの写真、^{しゃしん} 来てるか
ら、原稿といっしょに^{おく} 送つて。

江口 -051 はい。-052 ええと、どこですか。

谷山 -053 そこのつくえの上の封筒。

江口 -054 これですか。

谷山 -055 ちがうちがう。-056 そのむこう。

江口 -057 これですね。-058 え、これ、ちがいますよ。

谷山 -059 え、おかしいな。

江口 -060 あ、これかな。-061 ああ、ありました。

谷山 -062 あ、じゃ、よろしく。

池田 -063 課長、終わりました。

谷山 -064 ああ、わりに早かったな。-065 みんな、ごくろうさま。

-066 ちょっと、お茶にしようか。-067 ごくろうさま。

セグメント 4 **日本ははじめてです** — 紹介する —

(ストーリー I 「勉強」(b))

登場人物 **張玉萍** (中国人, 日本語学校学生)

後藤紀子 (日本語学校教師) **学生たち**

クレイグ・ホーン (アメリカ人, 新しい学生)

場面(1) 日本語学校の教室。

後藤 -001 おはようございます。

学生たち -002 おはようございます。

後藤 -003 みなさん、紹介します。-004 こちらは、クレイグ・ホーンさんです。-005 今日からいっしょに勉強します。-006 それじゃ、自己紹介してください。

クレイグ -007 はい。-008 はじめまして。-009 クレイグ・ホーンです。-010 アメリカのサンディエゴ からきました。-011 どうぞよろしくおねがいします。

学生A -012 あのう。

後藤 -013 はい。

学生A -014 クレイグさんは、いつ日本に来ましたか。

クレイグ -015 ええと、先月の、はじめ？

学生A -016 先月のはじめですか？

クレイグ -017 はい、そうです。-018 先月の三日に来ました。

学生B -019 今まで、どこで日本語を勉強していましたか。

クレイグ -020 どこで？ -021 ええ、サンディエゴの日本語学校で勉強していました。

張 -022 日本は、はじめてですか？

クレイグ -023 はい、はじめてです。

張 -024 なぜ日本へ来たのですか。

クレイグ -025 あのう、日本の大学に入りたいです。-026 入りたいからです。

後藤 -027 それじゃ、クレイグさん、わからないことは、みなさんにきいてくださいね。-028 みなさんも、よろしく。

クレイグ -029 よろしくおねがいします。

学生たち -030 よろしくおねがいします。

場面(2) 授業中。

張 -031 パチャリーさん、だいじょうぶ？

パチャリー -032 はい。

張 -033 先生に言いましょうか。

パチャリー -034 いいえ、だいじょうぶです。

張 -035 先生、パチャリーさんは病気だと思ひます。-036 ねつが
あります。

後藤 -037 パチャリーさん、かおが赤いわね。-038 どうしたんです
か。

パチャリー -039 少し体があついです。

後藤 -040 ほんとう。-041 ねつがあるわ。-042 医務室へ行ったほう
がいいですね。

張 -043 先生、わたしが。

後藤 -044 え、じゃ、張さん、いっしょに行ってください。



セグメント 5 この次は来月 — 約束する —

(ストーリーⅢ「仕事」(b))

登場人物 谷山治男 (ヤングトラベル企画課長)
池田洋子 (谷山の部下) 江口徹 (谷山の部下)
エレン・ソウザ (ブラジル人, アルバイト)
伊原聰 (ヤングトラベルの客)
桜井美香 [声] (東光銀行社員)
金 [声] (韓国人, 旅行社ATA社員)

場面(1) ヤングトラベルの応接室。

谷山 -001 ……あ, そうですか。-002 楽しみですね。…… -003 こ
のつぎは, いつ東京へ。

伊原 -004 ええと, 来月です。

谷山 -005 あ, では, その時にくわしいお話を。

伊原 -006 はい。-007 ええと, 五日はいかがですか。

谷山 -008 あ, もうしわけありません。-009 一日からハワイへ出張
で, 五日に帰ってきますので, 六日の木曜日はいかがですか。

伊原 -010 うーん, その日は, 午後の新幹線で帰りたいんですが, 午
前中でいいですか。

谷山 -011 はい, では, 10時ごろ。

伊原 -012 わかりました。-013 六日の10時ですね。

谷山 -014 はい。-015 では, またその時に。

伊原 -016 どうも、おいそがしいところを。

谷山 -017 いえいえ。-018 ありがとうございました。

池田 -019 しつれいいたしました。

伊原 -020 それじゃ。

場面(2) ヤングトラベルのオフィス。

女性 -021 はい、^{とうこうぎんこうかわせぶ} 東光銀行為替部でございます。

江口 -022 あ、ええ、ヤングトラベルの江口ともうしますが、

女性の声 -023 お世話になっております。

江口 -024 ああ、どうも。-025 ^{さくらい} 桜井さんをおねがいします。

女性の声 -026 はい、^{しょうしようま} 少々お待ちください。

桜井 -027 もしもし、^{さくらい} 桜井ですが。

江口 -028 美香さん？ -029 ぼく。

桜井 -030 あら、どうしたの。

江口 -031 うん、^{こんや} 今夜さあ、どう？

桜井 -032 こんやあ？ -033 うーん。

江口 -034 この前言ってた店さあ、^{まえい} ^{みせ} 行ってみようよ。

桜井 -035 ああ、あのインド料理？

江口 -036 はい。-037 6時に新宿でいかがでしょうか。

桜井 -038 やだあ、だれか来たの？

江口 -039 はあ。

桜井 -040 6時ね。-041 うん、いいよ。-042 どこで？

江口 -043 ええ、^{みなみぐち} 南口の、ええ、^{かいさつぐち} 改札口ではいかがでしょうか。

桜井 -044 ^{みなみぐち} 南口のお、^{かいさつぐち} 改札口ね。-045 ……もしもし？

江口 -046 やれやれ。-047 もうだいじょうぶ。

桜井 -048 じゃ、あとでね。

江口 -049 うん。-050 じゃあね。

場面(3) ヤングトラベルのオフィス。

エレン -051 あのう、ATAのキムさんとのうちあわせですが。

谷山 -052 はや ああ、早くした方がいいね。

エレン -053 課長、今週は。

谷山 -054 ええっと、ちょっとむりだなあ。-055 来週は、^{らいしゅう} 水曜日以^{すいよう} びい
外はだいじょうぶ。

エレン -056 わかりました。-057 むこうのつごうをきいてみます。

金（留守番電話） -058 はい、ATAでございます。-059 ただいまる
すにしております。-060 ピーという音の後にメッセージをお入れ
ください。

エレン -061 ヤングトラベルのエレンです。-062 うちあわせの件で
お電話しました。-063 こちらは、できれば来週、……

セグメント 6 ぼくがおぎります — 親しくなる —

(ストーリーⅡ「友達」(b))

とうじょう じんぶつ とう すうりょう ちゅうごくじん だいがくけんきゅうせい
登場人物 王 崇梁 (中国人, 大学研究生)

やまだ やすひろ だいがくじょしゅ
山田康浩 (大学助手)

おがわあけみ やまだ
小川明美 (山田のガールフレンド)

や てんいん
てんぷら屋店員

場面(1) てんぷら屋。

店員 -001 いらっしゃいませ。

山田 -002 あ, こっち, こっち。

小川 -003 おそくなりました。 -004 待った?

**山田 -005 紹介します。 -006 こちらが小川明美さん。 -007 大野中央
病院につとめています。**

王 -008 はじめまして。 -009 お医者さんですか?

小川 -010 いえ, 看護婦です。

店員 -011 いらっしゃいませ。

山田 -012 ビールでいい?

小川 -013 ええ。

山田 -014 じゃ, ビール, もう2本。

店員 -015 かしこまりました。

小川 -016 もう、たのんだの？

山田 -017 いや、まだ。-018 定食がいいかな。

小川 -019 そうね。

王 -020 でも、高いですね。

山田 -021 だいじょうぶですよ。-022 今日はね、ぼくがおごります。

小川 -023 あら、いいのお？

山田 -024 うん。-025 ボーナスが出たんですよ。-026 今日は金持ちですから。

小川 -027 じゃあ、ごちそうになりますよ。

王 -028 でも、悪いですねえ。

山田 -029 じゃ、みんな松にしましょう。

王 -030 えつ、まつですか。

小川 -031 定食は、松、竹、梅の3種類で、松がいちばん高いんですよ。

王 -032 じゃあ、わたしは梅にします。

山田 -033 そんな、えんりょしないで。-034 松、3人前、おねがいします。

店員 -035 かしこまりました。

場面(2) てんぷらを食べる。

山田 -036 これは長い。

王 -037 おいしいですね。

小川 -038 王さんは、やはり中国料理がいちばんすきですか。

王 -039 そうですね。

小川 -040 日本料理と西洋料理と、どちらが好きですか。

王 -041 それはもちろん日本料理がすき、と言った方がいいですね。

場面(3) てんぷら屋の前。

王 -042 ごちそうさまでした。

山田 -043 どういたしまして。

小川 -044 このつぎは中華料理、食べに行きましょうよ。

山田 -045 ああ、いいね。

王 -046 そうだ、わたしが作りますから、食べに来てください。

小川 -047 え、中華料理を？

山田 -048 それはいい。-049 ぜひごちそうしてくださいよ。

王 -050 今度、連絡します。

山田 -051 うん、楽しみにします。

小川 -052 じゃ、また。

王 -053 はい、また大学で。

小川 -054 とっても楽しかったわ。-055 おやすみなさい。

とうじょう じんぶつ
登 場 人物 荒木智恵子 (主婦)

? [ナレーション]

えき まえ
場面(1) 駅の前。

ナレーション -001 お母さんが帰ってきました。 -002 まだ、雨がふっています。

にく や まえ
場面(2) 肉屋の前。

ナレーション -003 来た、来た。 -004 肉屋で買い物をします。 -005 ひき肉を買いました。

はな や まえ
場面(3) 花屋の前。

ナレーション -006 きれいな花がたくさんあります。 -007 花は買いません。

まえ
場面(4) コンビニエンスストアの前。

ナレーション -008 この店はいつも開いています。 -009 とてもべんりな店です。 -010 牛乳を買います。 -011 ぼくは、牛乳が大好きです。

しょうてんがい
場面(5) 商店街。

ナレーション -012 急ぎます。 -013 そば屋があります。 -014 くすりはいつもこのくすり屋で買います。

場面(6) 公園。

ナレーション -015 つかれました。 -016 子どもはきらいではあります
せんけど、今日はあそびません。

場面(7) 公園の外。

ナレーション -017 早く帰りましょう。 -018 雨はやみました。 -019
でも、今日はさむいです。

場面(8) 駐車場。

ナレーション -020 さがしています。 -021 そこにはいません。

場面(9) 玄関の前。

ナレーション -022 ここがぼくのうちです。 -023 お帰りなさい。
荒木 -024 まあ、お帰り。 -025 どこへ行ってたの、1週間も。 -026
心配してたのよ。

ナレーション -027 あたたかい！

セグメント 8 待ち合わせ —おしゃべり—

(ストーリー I 「勉強」(c))

とうじょう じんぶつ ちょうぎょくへい ちゅうごくじん にほんごがっこうがくせい
登場人物 張玉萍 (中国人、日本語学校学生)

たけだよしこ ちょう ほしょうにん むすめ
武田芳子 (張の保証人の娘)

場面(1) 喫茶店。

張 -001 あっ、ごめんなさい。-002 待ちましたか。

芳子 -003 いいえ、わたしも今来たところですから。-004 すぐにわ
かりました？

張 -005 ええ。

ウェイトレス -006 いらっしゃいませ。

張 -007 ええと、ミルクティー。-008 手紙ですか。

芳子 -009 ええ、大学の友達がね、イギリスに留学してるんですよ。

張 -010 へえ、いいですねえ。-011 芳子さん、遊びに行きたい
でしょう。

芳子 -012 ええ、行くつもりです。-013 でも、春になってからね。

張 -014 あ、冬はさむいでしょうね。

ウェイトレス -015 お待たせしました。

場面(2) こうさてん
交差点。

芳子 -016 張さん、お正月はどうします？

張 -017 ああ、何も予定はありません。-018 芳子さんは？

芳子 -019 わたしは、大みそからバリ島へおよぎに行くんです。

張 -020 わあ、いいですねえ。-021 お友達と？ -022 ふうん。

-023 ……車、来ませんね。

芳子 -024 ああ、わたっしゃいましょうか。

張 -025 こういうとき、日本人はわたりませんね。

芳子 -026 元旦には、うちへあいさつに来るでしょう？

張 -027 ええ、保証人にはごあいさつしなくちゃ。

芳子 -028 わたしはインドネシアですから、父と母をよろしくね。

張 -029 じゃ、芳子さんのかわりに、あ明けましておめでとうございまーす。



セグメント 9 プチトマト！ — 買物 —

(ストーリーⅡ「友達」(c))

登場人物 王 崇梁 (中国人, 大学研究生)

山田 康浩 (大学助手)

小川 明美 (山田のガールフレンド)

朴 海煥 (韓国人, 大学院生, 王の先輩)

荒木 智恵子 (王のホームステイ先の主婦)

八百屋の主人 スーパーのレジ係

場面(1) 商店街。

王 -001 あの、このくらいの小さいトマト、なんと言いますか。

小川 -002 ああ、プチトマトのことですか。

王 -003 あ、プチトマト。

山田 -004 たまごやビーフンはスーパーでいいですね。

王 -005 ええ。 -006 先に八百屋へ行きましょう。

場面(2) 八百屋。

八百屋 -007 はい、ネギにピーマンにチングンサイね。

小川 -008 それから、ニンジンと、ええと、あ、プチトマト、あります？

八百屋 -009 あ、今日はもう……。 -010 すいません。

小川 -011 じゃ、おいくらですか。

山田 -012 あ、いたいた。

八百屋 -013 えー、1250円です。

場面(3) スーパー。

王 (声) -014 たら、たまご、小麦粉、ビーフン、とり肉、レタス、
プチトマト。

王 -015 とり肉、たら、小麦粉、……。-016 だいじょうぶです

朴 ね。-017 何かわすれた物はない?

王 -018 うん、これでぜんぶ。

レジ係 -019 4397円になります。

王 -020 あ、7円あります。

レジ係 -021 はい、610円のおかえしになります。-022 ありがとうございました。

場面(4) 荒木家の前。

王 -023 えと、お母さんです。

荒木 -024 荒木です。

山田 -025 はじめまして、山田ともうします。

荒木 -026 あ、王さんがいつもお世話になります。

王 -027 こちら、小川さんです。

小川 -028 小川ともうします。

荒木 -029 よろしくおねがいします。

朴 -030 こんにちは。-031 おじゃまします。

荒木 -032 おひさしぶり。-033 さあさあ、どうぞ。

山田 -034 あのう、つまらないものですが。

荒木 -035 まあ、そんなこと、よろしいのに。…… -036 じゃあ、い
ただきます。 -037 ありがとうございます。 -038 さ、どうぞ。



セグメント 10 お魚はちょっと— いっしょに作る —

(ストーリーⅡ「友達」(d))

とうじょう じんぶつ さかな
登 場 人 物 王 崇 梁 (中国人, 大学研究生)

やまだ やすひろ だいがくじょしゅ
山 田 康 浩 (大学助手)

おがわ あけみ やまだ
小 川 明 美 (山田のガールフレンド)

パク ヘファン かんこくじん だいがくいんせい おう せんぱい
朴 海 煥 (韓国人, 大学院生, 王の先輩)

あら き ちえこ おう さき しゅふ
荒木智恵子 (王のホームステイ先の主婦)

あら きじゅんこ しょうがく ねんせい あら き ちえこ むすめ
荒木純子 (小学5年生, 荒木智恵子の娘)

場面(1) あら き け だいどころ
荒木家の台所。

王 -001 ビーフンはね、お湯に入れて。

朴 -002 ええと、ボールは……。

荒木 -003 はいはい。-004 これでいいかしら。

朴 -005 あ、すいません。

山田 -006 じゃあ、ぼく、野菜をります。

王 -007 え。-008 入れるものは、にんじんに、たけのこに、ねぎ
に、とり肉に、……。

山田 -009 あ、あと、しょうがとにんにくもでしょ？

王 -010 あ、そうです。

場面(2) 食堂。

王 -011 小川さん、それ、かわとほねをとって、てきとうに切ってください。

小川 -012 はい。-013 お魚って、なんかねえ。-014 あ、お魚は、
あんまりさわったこと、ないんです。-015 あの、切る大きさは？

王 -016 ええと、これぐらいかな。-017 切ったら塩こしょうして
くださいね。

場面(3) 台所。

場面(4) 食堂。

山田 -018 王さん、ニンジンはどんなふうに切れます？

王 -019 ええと、ほそ長く。

山田 -020 あ、……千切りですね。-021 これくらいでいいですか。

王 -022 はい。

王 -023 あ、お帰り。-024 山田さん、純ちゃんです。

山田 -025 山田です。

小川 -026 こんにちは。-027 小川です。

荒木 -028 純子、ごあいさつは。

純子 -029 こんにちは。

荒木 -030 先に手を洗ってきなさい。

純子 -031 はい。

場面(5) 台所。食堂。

山田 -032 いいですか。

朴 -033 ちょっとまってください。-034 おさけ, 塩, さとう。

-035 はい, いいですよ。-036 あ, ごまあぶらは最後に。

山田 -037 あ, そうですか。

場面(6) 食堂。

純子 -038 わあ, すごい。

王 -039 さあ, 食べましょう。

一同 -040 いただきます。

純子 -041 うん, おいしい。

荒木 -042 うん, おいしい。-043 うまくできましたね。

山田 -044 王さん, 料理, 上手ですねえ。

小川 -045 そうだ, 今度は韓国料理, 教えてくださいよ。

朴 -046 そうですね。-047 じゃあ, やりましょうか。

セグメント 11 川で—出会う—

(ストーリーIV 「恋人」(a))

とうじょう じんぶつ 登場人物 村井亜紀子 (大学3年生) ふかざわよしあき 深沢良昭 (大学4年生)

場面(1) 川のそば。

場面(2) 同じ場所, 1時間ぐらい後。

場面(3) 川のそばのボート乗り場。

深沢 -001 ああ, ごめんなさい。

亜紀子 -002 けさ, 歌ってたでしょう。

深沢 -003 え?

亜紀子 -004 あれ, 民謡ですか。

深沢 -005 ああ, 聞いてました。-006 サークルでね, 民謡やってる
んです。

場面(4) 同じ場所。

深沢 (声) -007 ほんとは, プロになりたいんだ。

セグメント 12 船に乗ってみますか — 案内する —

(ストーリーⅢ「仕事」(c))

登場人物 クラウディア・ロッシ (イタリア人, ヤングトラベルの
アルバイト)

池田洋子 (ヤングトラベル社員)

鈴木和広 (東京ベイトピア社員)

場面(1) 東京ベイトピアの中の丘の上。

鈴木 -001 あの三角のやねが水族館です。 -002 その右の方がみなと
になってます。 -003 よろしかったら、こちらへ。

池田 -004 クラウディアさん。

クラウディア -005 はい。

場面(2) メリーゴーラウンドのあたり。

鈴木 -006 お昼は、いちおうここで食べられるんですが。

池田 -007 そうですねえ。 -008 アイスクリームに、やきそばに、ハ
ンバーガー、……。 -009 もう少しおちついで食べられるところは
ありませんか。

鈴木 -010 ええと、レストランは山のむこうに4けんあります。

クラウディア -011 池田さん、タコやきって、和食ですか。

池田 -012 和食? …… -013 レストランって、どちらですか。

鈴木 -014 あ、どうぞこちらへ。

クラウディア -015 洋食じゃないなあ。 -016 …… ま、いっか。

場面(3) レストラン。

クラウディア -017 あ、おもしろそう。 -018 動物にえさをやるそうですよ。

池田 -019 え、動物?

鈴木 -020 ペンギン、イルカ、シロクマ、あとは魚ですね。 -021 えさをやるところが見られるんです。 -022 あとでごあんないしますよ。

池田 -023 おねがいします。

クラウディア -024 いいけしきですねえ。 -025 やっぱり海はいい。

鈴木 -026 あ、そうそう、ふねにものってみてくださいね。

池田 -027 ふねですか。 -028 どこへ行くんですか。

鈴木 -029 しまのまわりをまわるんです。 -030 気持ちいいですよ。

クラウディア -031 わたし、ちょっとえんりょします。

池田 -032 どうして。

クラウディア -033 わたし、ふねによわいんです。

場面(4) 船の乗り場。

セグメント 13 お茶にします — アドバイス —

(ストーリーⅡ「友達」(e))

登場人物 王 崇梁 (中国人, 大学院生) 山田康浩 (大学助手)
学生 (大学3年生)

場面(1) 南海大学国語学科研究室。

王 -001 ここはしづかでいいですねえ。

山田 -002 ああ、教育学部の方は、グラウンドが近いから、ちょっと
うるさいでしょう。

学生 -003 山田さん、あのう、…… -004 あ、すいません。

王 -005 あ、いいですよ。-006 どうぞ。

学生 -007 すいません。-008 ええと、川田先生のゼミ、出た方がいい
いでしょうか。

山田 -009 ええ？ -010 どうして。

学生 -011 心理学の講義と同じ時間なんで、まよってるんです。

山田 -012 卒論は、何にするの。

学生 -013 明治時代の外来語です。

山田 -014 あ、それじゃ川田先生は3年生のうちにとった方がいい
な。-015 心理学は、4年になってからも聞けるからね。

学生 -016 そうですか。-017 じゃ、やっぱり川田先生、出ることに
します。-018 どうも。-019 しつれいします。

場面(2) 王と山田。

王 -020 山田さん、わたしもそだんしていいですか。

山田 -021 え、何ですか。

王 -022 ちょっとほしい本ほんがあるんですが、もう売うってないらしい
んですよ。

山田 -023 図書館としょかんにもないんですか。

王 -024 できれば國くにへ持もって帰かえりたいんで、古本屋ふるほんやでさがそうと思
うんですけど、

山田 -025 ええ。

王 -026 古本屋ふるほんやってどこにあるんでしょう。

山田 -027 ああ、神保町じんぼうちょうに行けば、たくさんありますよ。

王 -028 じんぼうちょうって、どのへんですか。

山田 -029 ええっと、水道橋すいどうばしの駅えきから……歩あるいて、10分ぶんぐらいです
ね。-030 こっちが新宿しんじゅく、こっちが東京とうきょう。

王 -031 はい。-032 じゃ、行いってみます。

山田 -033 ぼくも、よく行くんですよ。-034 今度こんどいっしょに行いきま
しょうか。

王 -035 あ、ぜひおねがいします。

山田 -036 ええと、あさって、どうですか。

王 -037 ええと、金曜日ですか。-038 その日は、ちょっと……。

山田 -039 じゃあ、来週は、……火曜の午後、どうですか。

王 -040 はい。-041 じゃあ、火曜日。-042 金曜は、内田先生の
おたくに招待されてるんです。

山田 -043 へえ。

王 -044 先生のおたくにうかがうのははじめてなんんですけど、どん
なものを持つていったらいいでしょうか。

山田 -045 そうですねえ、高いものじゃなくていいですよ。-046 や
っぱりおかしがいいかな。

王 -047 あのう、お茶はどうでしょう。-048 中国茶。

山田 -049 あ、いいかもしませんね。-050 中国のお茶は日本でも
人気がありますよ。

王 -051 じゃ、そうしようかな。-052 ところで、山田さんは?
-053 中国茶はおすきですか。

セグメント 14 お礼状? — 教わる —

(ストーリー I 「勉強」(d))

登場人物 張玉萍 (中国人, 日本語学校学生)

武田芳子 (張の保証人の娘) 武田妙子 (芳子の母)

場面(1) 武田家の居間。

母 -001 毎日あついですねえ。 -002 むぎ茶, どうぞ。

張 -003 いただきます。

芳子 -004 張さん, 夏休みに信楽へ行つたんですって。

母 -005 あら, わたし行つたことがないわ。

張 -006 そうですか。 -007 よかったですよ。 -008 これ, おみやげ
です。

母 -009 あらあ, どうもありがとうございます。 -010 重いのねえ。 -011 たい
へんだったでしょう?

張 -012 開けてみてください。

母 -013 何かしら。 …… -014 まあ。

芳子 -015 すてきねえ。

張 -016 友達がこういうのを作つていて, その人の作品なんです。

母 -017 そう。 -018 りっぱなはいざらねえ。

張 -019 あのう, それ, ……, ええっと, お花を……

母 -020 あ, ごめんなさい。 -021 そうね。 -022 はいざらには,
ちょっとふかすぎるわね。

場面(2) 同じ居間。

張 -023 わたしも、茶わんを作りました。-024 友達に教わって。

芳子 -025 へえ。

母 -026 そのお友達には、ずいぶんお世話なんだったのねえ。-027
お礼状は、出したの？

張 -028 お礼状？ -029 おれいの……、あ、手紙ですか。

母 -030 そうぞ。-031 帰つてきたらすぐに書かなくっちゃ。

張 -032 そうですかあ。-033 ええと、どんなふうに書けばいいですか。

芳子 -034 そうねえ。-035 ええっと……、その節はありがとうございました。

張 -036 そのせつ？

芳子 -037 その時って意味ね。-038 それから、とても楽しかったです。-039 遅くなつて、失礼いたしました。-040 写真ができたので、お送りします。-041 またいつか、おじゃましたいと思います。-042 お元気で、とかね。

張 -043 はい。-044 じゃあ、すぐにお礼状、書きます。

母 -045 あら、もう5時。-046 張さん、ばんご飯、用意してありますからね。-047 なんにもありませんけど。

張 -048 なにもないんですか。

芳子 -049 なんにもないけど、いろいろあるんですよ。

セグメント 15 実は…… — 報告する —

(ストーリーⅢ「仕事」(d))

とうじょう じんぶつ たにやまはる お 谷山治男 (ヤングトラベル企画課長)

いけだ ようこ たにやま ぶ か 池田洋子 (谷山の部下) えぐちとおる たにやま ぶ か 江口徹 (谷山の部下)

エレン・ソウザ (ブラジル人, アルバイト)

はんぱいそくしんぶちょう たにやま じょうし 販売促進部長 (谷山の上司)

場面(1) ヤングトラベル企画課のオフィス。

エレン -001 池田さん, 徳島のホテル, よやくをキャンセルしました
か。

池田 -002 ええっ? -003 江口さん, 徳島のホテルの予約金, はらつ
てないの?

江口 -004 ええ? -005 ええっと, -006 料金の35%を9月5日ま
でに……。-007 しまった。-008 わすれてました。

池田 -009 とにかく, ホテルに電話してみて。-010 急いでへやをさ
がさなくちゃ。

江口 -011 はい……。

場面(2) 谷山の席。

江口 -012 課長,あのう, 11月の四国ツアーナんですけど,

谷山 -013 うん。

江口 -014 あのう, 徳島のホテルに予約金をはらうのをわすれまして,

谷山 -015 ええっ?

江口 -016 キャンセルになってしまったんです。

谷山 -017 ホテルのたんとうは……, 江口くんか?

江口 -018 すいません!

谷山 -019 どういうことなんだ。

江口 -020 ええ, それが, 先週, 出張があつたり, えつ, いろいろと
……。

谷山 -021 うーん, 自分の仕事にはせきにんを持ってもらわないと
ね。

江口 -022 はい, もうしわけありません。



谷山 -023 それで、へやは空いてないの？

池田 -024 徳島はもういっぱいのようです。-025 高松ならまだ空い
ているそうですが。

谷山 -026 しかたがない。-027 じゃまず、高松のホテルをよやくし
て。

池田 -028 それからバス会社にれんらくします。

谷山 -029 うん。-030 エレンさんは、新しいスケジュール表の用意
をたのむ。

エレン -031 わかりました。

谷山 -032 いちおう、部長にも話しこう。

江口 -033 もうしわけありません。

場面(3) 部長室。

谷山 -034 しつれいします。

部長 -035 はい。

谷山 -036 じつは、11月の徳島のことなんですが、

部長 -037 うん？ -038 なんか、まずいこと？

セグメント 16 よくわかりません — あきらめる —

(ストーリーⅡ「友達」(e))

とうじょう じんぶつ パク ヘファン かんこくじん だいがくいんせい
登 場 人 物 朴 海煥 (韓国人, 大学院生) でんきや てんいん
電 器 屋 の 店 員

場面(1) ワープロ売場。

店員 -001 お待たせしました。 -002 どうもありがとうございます。
た。

店員 -003 ワープロですか。

朴 -004 ええ。

店員 -005 ええと、ごよさんはどのくらい。

朴 -006 まあ、安い方がいいですけど。

店員 -007 メーカーは、きめてらっしゃいますか。

朴 -008 いや、べつに考えていません。

店員 -009 どういったことにお使いになるんですか。

朴 -010 ええっと、レポートを書いたり、資料を作ったり。

店員 -011 そうですか。 -012 これどうでしょう。 -013 イラストが書
けるし、カラーいんさつとか、機能が多いんですよ。

朴 -014 イラストお。 -015 ううん、イラストは書かないと思いま
す。

店員 -016 そうですか。 -017 じゃあ、これは いかがですか。 -018
10万8千円で、けっこう安いですよねえ。 -019 先月出たばかり
です。

朴 -020 あのう、ハングルが使えるのはありませんか。

店員 -021 えっ、ハングル。 -022 それはむずかしいですねえ。 -023 ワープロでハングルはねえ。 -024 パソコンにワープロソフトをのつけるかたちなら、使えるのがあるかもしれませんけど。

朴 -025 え？ -026 パソコンに……。

店員 -027 ワープロのソフトウェアですね。 -028 パソコンの上でワープロソフトを走らせるわけですけど。

朴 -029 ソフトっていうと、どんな。

店員 -030 ええ、日本語のワープロは日本語しか使えませんから、ハングルと日本語が使えるワープロのソフトをパソコンにのせて使うわけですね。

朴 -031 ううん、ちょっとわかりませんから、友達に教えてもらつてからにします。 -032 また来ますから。

店員 -033 すいません。 -034 じゃ、よろしくおねがいします。 -035 ああ、ちょっとすいません。 -036 これ、ごさんこうに。 -037 ワープロソフトは、たとえばこんなのですから。

朴 -038 ああ、どうも。

店員 -039 ありがとうございました。

セグメント 17 それでOK！— 説明する —

(ストーリーⅢ「仕事」(e))

とうじょう じんぶつ えぐちとおる 江口徹 (ヤングトラベル社員)

エレン・ソウザ (ブラジル人, アルバイト)

あさのこうつうえいぎょうかちょう 浅野交通営業課長 あさのこうつうしゃいん 浅野交通社員

場面(1) ヤングトラベルのオフィス。

エレン -001 はい, ヤングトラベル企画課でございます。

江口 -002 あ, 江口だけど。

エレン -003 ああ, 江口さん。

江口 -004 今ね, 浅野交通さんにいるんだけど, ちょっと資料をファックスしてほしいんだ。

エレン -005 いま がた 方, わたししかいないんです。-006 ファックスの使い

江口 -007 うん, だいじょうぶ。-008 かんたんだよ。-009 ぼくのつくえの上の山形県のホテルリスト。

エレン -010 ええと, ちょっと待ってください。-011 はい。-012 これを, おくるんですね。

江口 -013 うん。-014 まずそれをファックスにのせて, コピーみたいに。

エレン -015 コピーみたいに? -016 はい, のせました。

江口 -017 じゃあ、ばんごうはね、ええと、よんきゅうゼロななの、
ごおにいいちいち。

エレン -018 はい。 -019 4, 9, 0, 7, 5, 2, 1, 1。

江口 -020 ばんごうが出た？

エレン -021 はい。 -022 4 9 0 7, 5 2 1 1。

江口 -023 よし、じゃあ、送信そうしんていうのをおして。

エレン -024 ええと、この大きいボタンですね。

江口 -025 うん。 -026 どうなった。

エレン -027 ソウシンチュウって出ました。

江口 -028 あ、じゃそれでOKだ。 -029 どうもありがとう。

エレン -030 はい。 -031 それじゃ。

場面(2) 浅野交通のオフィス。

課長 -032 18日が3台、19日が3台、20日が4台ですね。

江口 -033 はい、それでけっこうです。

社員 -034 課長。

課長 -035 9月26日、美香たんじょう日。 -036 6時、四谷ミステイ。
イ。 -037 いいなあ、わかい人は。

セグメント 18 就職 — 様子をきく —

(ストーリーIV 「恋人」(b))

登場人物 村井亜紀子 (大学3年生)

深沢良昭 (大学4年生)

レストラン店員

場面(1) 駅。

亜紀子 -001 ごめんなさい。 -002 授業が長くなっちゃって。

深沢 -003 行こうか。

場面(2) レストラン。

亜紀子 -004 あ、キウイのワインがある。

深沢 -005 の 飲んでみようか。

亜紀子 -006 うん。 -007 今日もあの広告会社ですか。

深沢 -008 うん。 -009 道南情報。

亜紀子 -010 どこにあるんですか。

深沢 -011 中野の方。 -012 本社は北海道の、ええと、札幌で中野は
支店だって。

店員 -013 おきまりですか。

亜紀子 -014 すいません、ちょっと。

深沢 -015 ああ。

場面(3) ^{おな}_ば ^{しょ}同じ場所。

亜紀子 -016 しゅうしょく、きまりそうですか。

深沢 -017 うん。-018 たぶん、^{きょう}はい ^{おも}今日のとこに入ると思うな。

亜紀子 -019 じゃあ、^{かしゅ}歌手はあきらめるんですか？

深沢 -020 それは夢さ。-021 歌手んななつても、^{ゆめ}^{かしゅ}^{せいかつ}生活できないよ。

-022 ……歌は、つづけるよ。

亜紀子 -023 ……^{ほっかいどう}北海道、^い行っちゃうんですか。

深沢 -024 まだわからないよ。-025 あの会社にしゅうしょくした
ら、たぶん、^{けんしゅう}^{さっぽろ}研修は札幌だろうけど。-026 そのあと、どこへ行く
ことになるかわからない。

亜紀子 -027 東京にいて。

深沢 -028 だいじょうぶだよ。



セグメント 19 校外学習 — 話し合う —

(ストーリー I 「勉強」(e))

登場人物 張玉萍 (中国人, 日本語学校学生)

後藤紀子 (日本語学校の教師)

(学生たち) パチャリー・ラタナーウン (タイ人)

ミーチャ (ロシア人) ロイド (オーストラリア人)

アレミン (イラン人) アルバー (デンマーク人)

ダナヤー (タイ人)

場面(1) 日本語学校の教室。

後藤 -001 来月の校外学習について、みなさんの意見を聞きます。

-002 校外学習というのは、学校の外で勉強するということです。

-003 よさんは一人2500円です。 -004 みなさん、どこへ行きたいですか。

ロイド -005 カラオケがいいです。 -006 日本語の勉強になります。

ミーチャ -007 わたしは、歌がへたですから、ボーリングの方がいいです。

アルバー -008 あ、ディスコもいいですよ。

後藤 -009 ボーリングやディスコは勉強になりますか。

アレミン -010 じゃ、動物園はどうですか。

張 -011 みんなで話すより、グループに分かれて意見をまとめたらどうでしょうか。

後藤 -012 え、それがいいですね。

場面(2) 張 ^{ちよう}、パチャリー、ロイドのグループ。

張 -013 10月は台風が来るかもしれないから、雨がふっても行けるところがいいと思うんです。

パチャリー -014 あのう、この間、友達が水族館に行ったんです。

-015 魚がたくさんいて、とてもきれいだったそうです。

ロイド -016 どこの水族館ですか。

パチャリー -017 葛西です。 -018 東京駅から電車で10分ぐらいです。

張 -019 近いし、雨がふっても行けるし……、勉強になりますよね。

ロイド -020 んー、水族館にしましょう。

場面(3) ミーチャの発表。

ミーチャ -021 わたしたちは、日光へ行くのがいいと思います。 -022 日光には有名な神社があります。 -023 10月はもみじがきれいです。 -024 山にのぼったり、みずうみでボートにのったりすると、たのしい思います。

ロイド -025 雨がふったらどうするんですか。

ミーチャ -026 雨はふらないと思います。 -027 雨がふったら、日光でボーリングをしましょう。

張 -028 日光は、かなりとおいんじゃないかと思いますけど。

ロイド -029 それに、お金が足りないでしょう。

ミーチャ -030 それが問題です。 -031 たぶん、一人2000円ぐら
い集めなければなりません。

一同 -032 えー？

場面(4) パチャリーの発表。

パチャリー -033 わたしたちは、水族館がいいと思います。 -034 東京駅から電車で10分ぐらいの葛西というところにあります。 -035 近いし、雨がふってもだいじょうぶです。 -036 近くの海岸であそぶこともできます。

ミーチャ -037 わたしはその水族館へ行ったことがありますから、もういいです。

パチャリー -038 でもほかの人は行ったことがありません。

後藤 -039 では、手をあげてきめましょう。 -040 まず、日光へ行きたい人は、手を上げてください。

セグメント 20 花火

(映像素材(b))

とうじょう じんぶつ
登場人物 青年 わんな こ
おんな こ
てら ひと
お寺の人たち

場面(1) 村の道、寺。

ナレーション -001 ぼくはバイクで旅をしていました。-002 その日
ともだち いえ
は友達の家にとめてもらいうつもりでしたが、道がわからなくなって
しまいました。-003 一軒のお寺をみつけたので、中に入っていき
ました。-004 お寺の人にたのんで、一ぱんとめてもらうことにし
ました。

場面(2) 寺の中。

ナレーション -005 お寺の人は、広いたたみのへやにふとんをしいて
くれました。

青年 -006 ああ、つかれた。

ナレーション -007 秋のむしがないていました。-008 月がきれいで
かぜ
した。-009 すずしい風がふきました。-010 少しこわくなりまし
た。

場面(3) 寺の前。

ナレーション -011 だれかがかたにさわりました。

青年 -012 ああ、おどろいた。-013 きみだれ？ -014このうちの子？

ナレーション -015 それは、一人の女の子でした。

青年 -016 花火やりたいの？

ナレーション -017 女の子は、ゆかたを着て、手に花火を持っていました。
した。 -018 女の子は、花火をやりたがっていました。 -019 火をつけてやると、女の子はとてもうれしそうでした。

青年 -020 ぼくにもくれるの？ -021 じゃあ、いっしょにやろうか。

ナレーション -022 それから、ぼくたちは、何本も何本も花火をしました。

場面(4) 次の朝。

ナレーション -023 目がさめると、ぼくはふとんの中にいました。

青年 -024 あれ、いつねちゃったんだろう。

場面(5) お寺の台所。

ナレーション -025 お寺の人といっしょに朝ごはんを食べました。

-026 部屋のすみには、仏壇がありました。 -027 仏壇には、小さな写真がおいてありました。



セグメント 21 海の底 — ことばで表す —

(ストーリーⅡ「友達」(g))

とうじょう じんぶつ おう すうりょう ちゅうごくじん だいがくいんせい
登 場 人 物 王 崇 梁 (中 国 人, 大学院生)

やま だやすひろ だいがく じょしゅ
山 田 康 浩 (大 学 の 助 手)

パク ヘファン かんこくじん だいがくいんせい おう せんぱい
朴 海 煥 (韓 国 人, 大学院生, 王の先輩)

おがわ あけみ やまだ
小 川 明 美 (山 田 の ガールフレンド)

場面(1) 水族館の前。

場面(2) 水族館の中。

小川 -001 わあ。

山田 -002 へええ。

朴 -003 おもしろい。-004 海のそこにあるようですねえ。

小川 -005 ねえ、これ、ガラスでしょ。-006 こわれないかな。

山田 -007 まさか。

王 -008 でも、やっぱりこわいですよね。

朴 -009 こういうところ、どうやってつけてあるんでしょうねえ。

小川 -010 いやあだ。-011 やめてくださいよお。

場面(3) 水そうの前。

小川 -012 あ、あれ、きれいねえ。-013 とってもスマート。-014 なんていう魚かしら。

王 -015 ええと、どれですか。

小川 -016 ほらほら、あそこ。-017 わりに大きくて、^{おお}銀色で、しつぽの方にきいろいせんがある。

王 -018 ええと、きいろいせん。-019 あ、これでしょう。-020 シマアジだそうですよ。

小川 -021 ええ？ あれがシマアジ。-022 おさしみにすると、おいしいのよね。

王 -023 あれは、マダイでしょう。

小川 -024 どれどれ。タイもおいしいんですよ。

朴 -025 小川さん、魚の料理はしないんでしょう。

小川 -026 朴さん！ もう。-027 最近は、やってるんですよ。-028 カレイとか、タコとか。

山田 -029 ウナギとかね。

小川 -030 そうそう、目がない魚ね。

王 -031 目がない魚？

山田 -032 ほら、カレイもタコも、切って売ってるでしょう。

小川 -033 だって、魚の目って、気持ち悪いんですよ。

朴 -034 あ、あれ、日本語で何と言いますか。

山田 -035 え、あれですか。-036 ええと、サメですね。-037 そうそ
う、カマボコはサメから作るそうですよ。

朴 -038 へえ。-039 マルコバン？ -040 へんな名前ですねえ。

山田 -041 ええっと、マル・コバンでしょう。-042 小判こばんって、ほ
ら、むかしのお金かね。

朴 -043 あ、そうか。-044 まるい小判こばんみたいだからですね。

場面(4) イルカの水そうの前。

小川 -045 いいなあ。-046 わたしも、早くイルカといっしょにおよ
げるようになりたあい。

山田 -047 え、イルカといっしょに？

小川 -048 あ、わたし、最近さいきんダイビングならを習ってるの。

山田 -049 へえ、知らなかつた。

小川 -050 コーチが、ハンサムな人ひとでねえ。

山田 -051 なんなの、それ。

王 -052 山田さんも、ダイビングなら習わなくちゃ。

朴 -053 ぼくもやってみようかな。

小川 -054 ええ。-055 わたしが行つてるスクールひょうかいしまし
ょうか。

セグメント 22 少々お待ちください —応接—

(ストーリーⅢ「仕事」(f))

登場人物 クラウディア・ロッシ (イタリア人, ヤングトラベル
のアルバイト)

江口 徹 (ヤングトラベル社員)

社員 (ヤングトラベル総務課の社員)

山内孝雄 (サクラツアーズ社員)

橋本しづ子 [声] (課長がよく行く店のおかみ)

場面(1) ヤングトラベル企画課のオフィス。

社員 -001 ええっとお、池田さん、いらっしゃいます？

江口 -002 あ、ごめん。-003 今日は、朝から出かけてる。-004 帰つ
てこないと思うな。

社員 -005 あ、そうですか。-006 あしたは。

江口 -007 午前中は、いるはず。

社員 -008 はい。-009 どうも。

江口 -010 うん。

場面(2) 午後。

山内 -011 ごめんください。-012 サクラツアーズの山内でございま
すが、……-013 池田さんは、いらっしゃいますでしょうか。

クラウディア -014 もうしわけありません。-015 池田は、今日外へ
で出しておりますが。

山内 -016 あ、^{きょう} 今日ですね、あのう、2時のおやくそくだったんです
が……。

クラウディア -017 はあ。 -018 少々お待ちください。 -019 ^{えぐち} 江口さ
ん、サクラツアーズさんなんんですけど、池田さんから聞いてます
か。

江口 -020 あ、^き 聞いてる、^き 聞いてる。 -021 おうせつ室へごあんない
して。

クラウディア -022 はい。 -023 しつれいいたしました。 -024 こちら
でちょっとお待ちください。

場面(3) ^{でんわ} 電話。

江口 -025 はい、ヤングトラベル企画課でございますが。

橋本 -026 あのう、^{たにやま} 谷山さん、いらっしゃる？

江口 -027 ええ、少々お待ちください。 -028 クラウディアさん、^か 課
長は？

クラウディア -029 あ、ええと、トイレだと思います。

江口 -030 お待たせいたしました。 -031 ただ今、ちょっとせきを外
しております、すぐもどると思いますが。

橋本 -032 あらあ、じゃあ、またかけます。

江口 -033 もうしわけございません。 -034 何かおつたえいたしまし
ょうか。

橋本 -035 いえっ、けっこうです。

江口 -036 はい、よろしくおねがいいたします。

セグメント 23 これはどうですか —相談する—

(ストーリー I 「勉強」(f))

とうじょう じんぶつ ちょうぎょくへい ちゅうごくじん にほん ごがっこうがくせい
登 場 人 物 張 玉萍 (中国人, 日本語学校学生)

としょかんしょくいん がっこう ちか としょかん しょくいん
図書館職員 (学校の近くの図書館の職員)

場面(1) 図書館のカウンター。

張 -001 すいません, ……。

職員 -002 はい。

張 -003 あのう, 日本がアジアから輸入している物のことをしらべ
ているんですが。

職員 -004 あ, ぼうえきですか。

張 -005 はい, 何かわかりやすい本はないでしょうか。

職員 -006 アジアからの輸入についてわかりやすく書いた本。……

-007 うーん, 輸入というと, どんな物を輸入しているかとか, ど
うやって運ぶかとか, いろいろな問題がありますよねえ。

張 -008 ええ, とくに, 東南アジアからの輸入品のしゅるいのこと
を。

職員 -009 ……そうですね。-010 日本語でいいんですね。

張 -011 はい。-012 できるだけ新しいのを……。

職員 -013 こんなのはどうですか。

張 -014 ええと、「アジアの経済と日本」、現代經濟研究所編。

職員 -015 それから、これもいいかもしません。-016 工業せいひ
んについては、これがいちばんくわしいと思いますよ。-017 え
え、3年前だから、ちょっと古くなっているかもしれませんけど。

張 -018 あ、でも、いちおう見てみます。

職員 -019 ええと、ここで見ますか。-020 それとも、借りてゆきま
すか。

張 -021 ええと、ちょっと時間がないので、

職員 -022 じゃ、こちらへどうぞ。

張 -023 はい、ありがとうございます。

職員 -024 あと、その本の参考文献のリストを見ると、もっといろんな本がでているでしょう。

場面(2) 貸し出しカウンター。

職員 -025 それじゃ、ちょっと貸してください。

張 -026 はい。

職員 -027 貸し出しカードはありますね。

張 -028 はい。

職員 -029 はい、どうぞ。

張 -030 どうも。

職員 -031 貸し出しは2週間ですから、3月ついたちまでに返してく
ださい。

張 -032 はい。-033 どうもありがとうございました。

セグメント 24 静かに！ — うわさ話 —

(ストーリー I 「勉強」(g))

とうじょう じんぶつ ちょうぎょくへい ちゅうごくじん にほん ごがっこうがくせい
登 場 人 物 張 玉萍 (中国人, 日本語学校学生)

パチャリー・ラタナーワン (タイ人, 張の同級生)

ミーチャ (ロシア人, 張の同級生)

場面(1) 図書館。

ミーチャ -001 ああ, 張さん。

張 -002 どうかしたんですか。

ミーチャ -003 知っていますか。 -004 後藤先生は, 外国へ行ってしまうそうです。

張 -005 へえ, 知りませんでした。

パチャリー -006 どこですか。

ミーチャ -007 アデレードだそうです。

張 -008 アデレードって, どこですか。

パチャリー -009 オーストラリアです。

ミーチャ -010 2月の終わりに行ってしまうんです。 -011 わたしは最後まで後藤先生に習いたい。

張 -012 ミーチャさん。

場面(2) 図書館の外。

張 -013 もう、ミーチャさんたら、こえが大きいんだから。 -014
ねえ。

ミーチャ -015 すみません。 -016 でも、とてもざんねんですね。

張 -017 先生が行きたいなら、しかたがないでしょう。

パチャリー -018 先生が出発する前に、パーティーをしましょう。

張 -019 あ、そうですね。 -020 送別会。

パチャリー -021 そうべつかい。

ミーチャ -022 うん、やりましょう。 -023 いつにしますか。 -024 来
週の金曜日はどう？

張 -025 先生のつごうをきかなくちゃ。 -026 外国へ行く前だか
ら、とてもいそがしいはずですよ。

ミーチャ -027 あした、学校できてみましょう。 -028 場所は？
-029 どこがいい？ -030 プレゼントは、何がいい？

張 -031 そうねえ。

ミーチャ -032 そうだ、あのビルの中においしいロシア料理の店があ
るんです。

セグメント 25 卒業コンサート

(映像素材(c)・ストーリーIV「恋人」(c))

とうじょう じんぶつ むらい あきこ だいがく ねんせい
登 場 人 物 村井亜紀子 (大学3年生)

ふかざわよしあき だいがく ねんせい あきこ こいびと
深沢良昭 (大学4年生, 亜紀子の恋人)

すぎやま なおき ふかざわ こうはい
杉山直樹 (深沢の後輩)

場面(1) 大学の講堂。

アナウンス -001 つぎは、経済学部4年、深沢良昭君。 -002 曲は、
なんぶうしお うた しゃくはち しょうがくぶ ねん すぎやまなおき
南部牛追い唄。 -003 尺八ばんそうは、商学部3年、杉山直樹くん
です。

場面(2) 歌う深沢、春の山や村の風景



セグメント 26 ふりそで — 教わる —

(ストーリー I 「勉強」(h))

とうじょう じんぶつ ちょうぎょくへい ちゅうごくじん にほん こがっこうがくせい
登場人物 張 玉萍 (中国人, 日本語学校学生)

じん ちょう どうきゅうせい
パチャリー・ラタナーワン (タイ人, 張の同級生)

たけだ よしこ ちょう ほしょうにん むすめ かし いしょうや てんいん
武田芳子 (張の保証人の娘) 貸衣装屋の店員

かしいしようや
場面(1) 貸衣装屋のカウンター。

き もの おび じゅばん か
店員 -001 お着物と、帯と、襦袢と、あとひもなんかはお貸しします
ので、足袋はおきゃくさまの方で用意していただけますか。

じゅばん したぎ
芳子 -002 裾袢って、下着ね。

かがみ まえ
場面(2) 鏡の前。

なが
パチャリー -003 これ、長すぎますね。

あと も あ うえ おび おび
店員 -004 あ、後ですそを持ち上げるんですよ。 -005 ここをひもで
しめて。 -006 その上にこれをしめて、帯をしめて、帯じめをしめ
ると。

パチャリー -007 わあ、しめて、しめて。

おび なんばん
張 -008 ひもとか、帯とか、ぜんぶで何本ぐらいしめるんですか。

うえ おび おび
店員 -009 ま、そんなにたくさんじゃありません。 -010 5, 6本ぐ
らいですね。

ほん
パチャリー -011 5本！

場面(3) 鏡の前。

張 -012 えりは、どんなふうにすればいいですか。

店員 -013 後ろを少しぬいて、

張 -014 ぬいて、っていうのは……。

店員 -015 こういうふうにちょっと開けるんですね。

張 -016 はあ。

店員 -017 そして、^{まえ}前はこのくらい。

場面(4) 他のふりそでを着てみるパチャリー。

店員 -018 まず、こうして、かたにかけてから、^て^い手を入れてくださいね。

張 -019 どうですか。

芳子 -020 うん、きれい。 -021 でも、ちょっとおとなしいんじゃないかな。

店員 -022 そうですね。 -023 やはり、あちらの赤の方がおきれいですかしら。

芳子 -024 張さん、^{ちょう}せが高いから、^{たか}大きいもようの方がにあうんですよね。

店員 -025 ちょっと、^{おひ}帯をあわせてみましょうね。

張 -026 芳子さんは着物を着ることがありますか。

芳子 -027 いいえ、ほとんどありませんね。 -028 お正月にも着ないし。 -029 成人式の時に着ましたけど。

場面(5) 鏡の前。

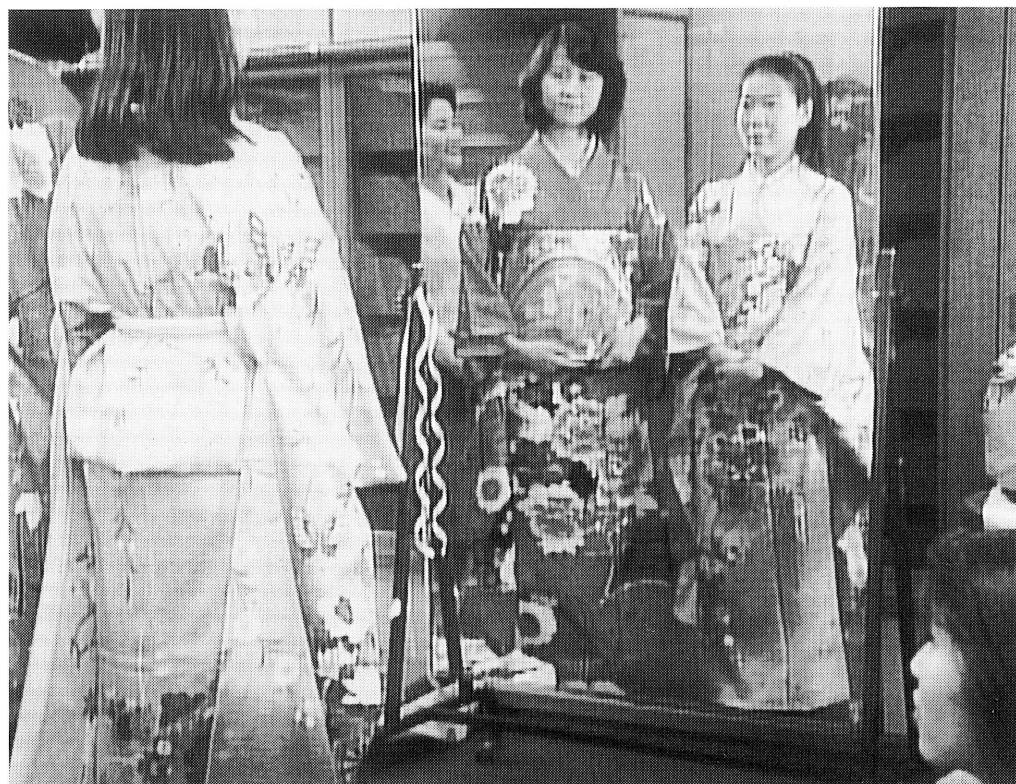
芳子 -030 うーん、二人とも、いいですね。

パチャリー -031 これは、ふりそでっていうんですか。

店員 -032 はい。 -033 こういうそでの長いのがふりそでで、おじよ
うさんがおめしんなるんですね。 -034 あと、留め袖とか、訪問着
とか、付け下げとか、いろいろございますけど。

芳子 -035 うーん、どうちがうのかぜんぜん知らないなあ。

パチャリー -036 日本文化、勉強してください。



セグメント 27 ソトかウチか — 敬語 —
(ストーリーⅢ「仕事」(g))

登場人物 エレン・ソウザ (ブラジル人, アルバイト)

クラウディア・ロッシ (イタリア人, アルバイト)

池田洋子 (ヤングトラベルの社員) 販売促進部長

場面(1) 昼休み。ヤングトラベル企画課。

クラウディア -001 それで、スキー場に着いたんですけど、つぎの朝、ねつが出てしまって。

エレン -002 ええ？ -003 ひどいねつ？

クラウディア -004 計ってみたら、8度3分あったんです。

エレン -005 ほんとお。 -006 じゃあ、スキーなんかとんでもないよねえ。

クラウディア -007 エレンさん、おべんとうは自分で作るんですか。

エレン -008 ええ、そう。 -009 毎日じゃないけどね。 -010 ……ねえ、クラウディアさん、

クラウディア -011 はい？

エレン -012 あのう、ですか、はいとかって、言わなくてもいいんじゃない。

クラウディア -013 ああ、そうですか。 -014 ……ていねいすぎますね。

エレン -015 うん。

クラウディア -016 だけど、日本語はこれしか知らないんですよ。

場面(2) 午後1時5分。

部長 -017 谷山くん、どこにいます？

エレン -018 あ、部長。-019 ええと、おきやくさまとお食事にいらっしゃいました。

部長 -020 あ、そう。-021 もどったら、電話するように言ってください。

エレン -022 はい、わかりました。-023 ねえ、^{いま}今の、いらっしゃいましたでよかったです？

クラウディア -024 さあ……。-025 行っております、かなあ。

エレン -026 部長って、ソトの人？

池田 -027 日本人だってわかんないわよ、そんなの。

セグメント 28 お祝いです — おく もの 贈り物 —

(ストーリーIV 「恋人」(d))

とうじょう じんぶつ むらい あきこ だいがく ねんせい ふかざわよしあき だいがく ねんせい
登 場 人 物 村井亜紀子 (大学3年生) 深沢良昭 (大学4年生)
みやた あい ふかざわ こうはい
宮田愛 (深沢の後輩)

場面(1) 大学の中。

亜紀子 -001 これ、あげます。 -002 どうぞ。 -003 さし上げます。
-004 うーん、へんね。 -005 これ、卒業です、じゃない、卒業祝
いです。 -006 プレゼント！ -007 うーんと、気に入ってくれる
といいんですけど。 -008 ああ、わかさがない。 -009 気に入って、
くれるかな。

宮田 -010 深沢先輩ですか。 -011 プレゼントですか。 -012 ネクタイ
かなあ。 -013 ちがうな。 -014 ベルト！ -015 いやっ、おさいふ！
-016 そうでしょう。

亜紀子 -017え、ええ、まあ。

宮田 -018 深沢先輩、北海道の会社ですってえ？ -019 どうするんで
すか。

亜紀子 -020 さあ。 -021 ……別に。

宮田 -022 いっしょに北海道行きたいでしょ。

亜紀子 -023 さあ。

宮田 -024 けっこんするんですか。

亜紀子 -025 そんな。 -026 かんけいないでしょ。

宮田 -027 もうそろそろ来ますよ。

亜紀子 -028 来ないのお？ -029 早く来ないと、帰っちゃうから。

-030 あと、10ぴょう。-031 10, 9, 8, 7, 6, 5,

深沢 -032 あれ、あっこ。

亜紀子 -033 あ。

深沢 -034 どうしたの。

亜紀子 -035 ええ。-036 あの、これ.....

深沢 -037 え？

亜紀子 -038 卒業、おめでとう。

深沢 -039 ああ。-040 ありがとう。



セグメント 29 私の原稿は — 行き違い —
(ストーリーⅡ「友達」(h))

とうじょう じんぶつ おう すうりょう ちゅうごくじん だいがくいんせい きょういくぎょうせいせんこう
登場人物 王 崇梁 (中国人, 大学院生, 教育行政専攻)

やまだ やすひろ だいがく こくごがっかじょしゅ
山田康浩 (大学の国語学科助手)

場面(1) 大学の中。

王 -001 山田さん。

山田 -002 ああ, 王さん。

王 -003 よかった。 -004 帰つてしまつたかと思いました。

山田 -005 え, 何か用ですか。

王 -006 ええ, これ, 教育学部の論文集に出そうと思うんです。

山田 -007 へえ, それはいいですねえ。

王 -008 それで, 山田さん, 日本語のまちがっているところをなおしていただけませんか。

山田 -009 ええ……, いいですけど……, ぼくは教育のこと, わからないからなあ。

王 -010 いえ, 日本語としておかしいところだけでいいですから。

山田 -011 いつまでですか。

王 -012 しめ切りは来週なんです。

山田 -013 今日は, 金曜だから, 急ぎますね。 -014 ぼくも, ちょっと書かなきゃならないげんこうがあるんですよ。 -015 読めるかなあ。

王 -016 むりですか。

山田 -017 たぶん、火曜日^{かようび}になるなあ。 -018 だれかほかの人にたの
んだほうがいいですよ。

王 -019 いえ、火曜日^{かようび}ならだいじょうぶです。 -020 じゃあ、ちょ
っと急ぎますから、これで。 -021 よろしくおねがいします。

山田 -022 ああ、いちおう読んでみますけど、だれかほかの人にもた
のんでくださいね。

場面(2) つぎ かようび ごごじ こくこがっかけんきゅうしつ まえ
次の火曜日の午後3時ごろ。国語学科研究室の前。

場面(3) 午後5時前。

王 -023 山田さん。

山田 -024 ああ、王さん。

王 -025 げんこう、読んでいただけましたか。

山田 -026 いやあ、ぼくのげんこう、ゆうべてつやして書いて、今,
やっと出したところなんです。 -027 今から読ませてもらいます。

王 -028 えっ、これから？

山田 -029 ええ。

王 -030 だけど、わたしもあしたの朝までに出さなければならぬ
んですよ。

山田 -031 えっ、あしたの朝^{あさ}……。 -032 今週中^{こんしゅうちゅう}じゃなかつたんです
か。 …… -033 だれか、ほかの人にたのまなかつたんですか。

王 -034 ええ、山田さんが火曜日^{かようび}って言ったから……。

山田 -035 すいません。 -036 はっきりことわればよかったです。

王 -037 ええ。 -038 ……わかりました。

セグメント 30 さよならですか — 伝える —

(ストーリーIV 「恋人」(e))

とうじょうじんぶつ
登場人物

むら い あ き こ だいがく ねんせい
村井亜紀子 (大学4年生)

ふかざわよしあき あ き こ こいびと ほっかいどう かいしゃ しゅうしょく
深沢良昭 (亜紀子の恋人、北海道の会社に就職した)

どうなんじょうほうしゃいん しんにゅうしゃいん
道南情報社員たち 新入社員たち

ふかざわ はは
深沢の母

ふかざわ いもうと
深沢の妹

しんにゅうしゃいん かぞく
新入社員の家族たち

こうえん
場面(1) 公園。

亜紀子 -001 おつかれさま。

深沢 -002 待った?

亜紀子 -003 うん、ちょっとね。 -004 おなかすいちゃった。

深沢 -005 うん。 -006 ……その前にね、ちょっと話があるんだ。

亜紀子 -007 え?

深沢 -008 じつはね、札幌の本社へ行くことになっちゃったんだ。

亜紀子 -009 ……そう。

深沢 -010 ……ごめん。

亜紀子 -011 いつまで?

深沢 -012 少なくとも、2, 3年、だろうな。

亜紀子 -013 じゃ、もう会えませんね。

**深沢 -014 いや、そんな……。 -015 休みがとれたら、東京に帰って
くるよ。 -016 ……夏休みには、遊びにきて。**

亜紀子 -017 うん。 -018 そうね。 -019 飛行機なら、すぐよね。

深沢 -020 うん。 -021 ……電話するよ。

亜紀子 -022 お仕事、がんばってね。

場面(2) 羽田空港。

社員 -023 ええと、そろそろ入りましょうか。

母 -024 わすれ物はないの？

深沢 -025 ああ。

母 -026 体に気をつけてね。

深沢 -027 うん。 -028 いってきます。 -029 じゃな。

2階から見ている亜紀子。ゲートに入る深沢。歩きだす亜紀子。



セグメント 31 うまく書けました — 筆で書く —

(ストーリー I 「勉強」(i))

とうじょう じんぶつ ちょうぎょくへい ちゅうごくじん だいがくりゅうがくせい
登場人物 張 玉萍 (中国人, 大学留学生)

じん だいがくりゅうがくせい ちょう
パチャリー・ラタナーウン (タイ人, 大学留学生, 張の
にほんごがっこうじだい どうきゅうせい
日本語学校時代の同級生)

じん だいがくりゅうがくせい ちょう にほんごがっこうじだい
ミーチャ (ロシア人, 大学留学生, 張の日本語学校時代
どうきゅうせい
の同級生)

さわむらみづこ しよどう おし
沢村美津子 (書道を教えている)

場面(1) 沢村家の座敷。

沢村 -001 点は、小さな三角を書くように。-002 よこのせんは、下
ろして、筆の先をのこしてひきます。-003 ここは、お折れですね。
-004 たてのせんは、筆の先がまんなかを通るようにして、一気に
ひきます。-005 はねですね。-006 これは、左下からやや右上に。
-007 それから、左へゆるくはらいます。-008 まっすぐじゃなく
て、少しまるくなりりますね。-009 こちらは、筆を下ろしてから、
まっすぐにはらって、今度は、だんだんに力を入れていって、ここ
で一度止めて、少しずつ少しずつぬいていきます。

場面(2) 張、「永」を書き終わる。

張 -010 どうですか。

沢村 -011 ええ、さすがにお上手ですねえ。-012 りっぱな字だわ。

パチャリー -013 ああ、だめ。 -014 うまくいきませんね。

沢村 -015 張さん、なにかすきなものを書いてみてくださいな。

-016 ああ、そうですねえ。 -017 ちょっと筆を持ってみてください。
い。 -018 あ、筆はね、もっとまっすぐに。 -019 ねかさないでくだ
さいね。

パチャリー -020 こうですか。

沢村 -021 そうそう。 -022 それで、一度に下ろさないようにして、
動かしてみてください。

パチャリー -023 こんなふうですか。

沢村 -024 そうそ。 -025 それで、力を入れるところは、しっかり力
を入れて。 -026 こことか、こことかね。

ミーチャ -027 先生、たてのせんが、どうしても曲がってしまうんで
す。

沢村 -028 ああ、いきおいよく書いてしまえばだいじょうぶですよ。

ミーチャ -029 そうですか。

張 -030 先生、ちょっと見ていただけますか。

沢村 -031 あら、かなですか。

張 -032 はい。 -033 わたしには、やはりかながむずかしいんで
す。

沢村 -034 なるほどね。 -035 でも、うまく書けていますよ。

場面(3) 沢村、草書を書く。

パチャリー -036 あのう……これ、なんて書いてあるんですか。

沢村 -037 くさ、ばな。

セグメント 32 お通夜 — 気持ちを表す —

(ストーリーⅡ「友達」(i))

とうじょう じんぶつ おう すうりょう ちゅうごくじん だいがくいんせい
登場人物 王 崇梁 (中国人, 大学院生)

パク ヘファン かんこくじん だいがくいんせい おう せんぱい
朴 海煥 (韓国人, 大学院生, 王の先輩)

やま だやすひろ だいがく じょしゅ
山田康浩 (大学の助手)

場面(1) オア 王のへや。

王 -001 もしもし。

朴 -002 パク あさはや
朴です。 -003 朝早くごめんなさい。

王 -004 ああ。

朴 -005 内田先生がね,

王 -006 内田先生?

朴 -007 さっき、なくなつたんです。

王 -008 えっ?

朴 -009 3時20分に……。

王 -010 ……どうして。

朴 -011 心臓です。 -012 それで、……

場面(2) お通夜の式場。

王 -013 どうもありがとうございます。

山田 -014 このたびはどうも……。 -015 びっくりしました。

王 -016 わたしもです。

山田 -017 何かお手伝いすることがあつたら、言ってください。

王 -018 ありがとうございます。 -019 朴さんにきいていただけますか。 -020 中にいますから。

山田 -021 はい。

場面(3) 祭壇。

場面(4) 玄関の前。

王 -022 山田さん、てつだわせてしまって、すいませんでした。

山田 -023 ああ、いえ。 -024 朴さん、おつかれさま。

朴 -025 なんだか、ほんとうにつかれました。

王 -026 朴さんは、ゆうべからねていないんですよ。

朴 -027 いや、それより、……なんだか、あたまの中がからっぽになつたみたいで。

山田 -028 内田先生は、朴さんの指導教官だったんですね。

朴 -029 はい。 -030 いい先生だったのに……。 -031 これからどうすればいいか……。

山田 -032 おいくつでしたっけ。

王 -033 まだ、49歳。 -034 早すぎますよ。

山田 -035 ざんねんですねえ。 -036 ほんとうにおしいことです。

朴 -037 まるで悪いゆめみたいですよ。

王 -038 朴さん、元気出して。

朴 -039 うん。

王 -040 内田先生のためにもね、がんばらなくちゃ。

山田 -041 王さん、ずっと気になってたんですけど、……いつかのげんこう。

王 -042 あ、いんさつの時に見ていただきました……内田先生に。

山田 -043 内田先生に……。



セグメント 33 いやだよねえ — あいづち —

(ストーリーⅢ「仕事」(h))

登場人物 エレン・ソウザ (ブラジル人, アルバイト)

クラウディア・ロッシ (イタリア人, アルバイト)

場面① エレンとクラウディア、話^{はな}し合^あっている。

エレン -001 夜^{よる}、電車^{でんしゃ}にのるとね、

クラウディア -002 ええ。

エレン -003 よっぱらって^{ひと}る人がいるじゃない。-004 大きなこえを出^だしたりい、人にぶつかつたりねえ。-005 あれって、なんか、はずかしいよねえ。-006 自分^{じぶん}のうちで飲^のむならね、いんだけど。

クラウディア -007 パーティーとかね。

エレン -008 そうそう。-009 プライベートな場所^{ばしょ}なら、問題ないけど。-010 こわいと思うこと、ない? -011 わかい人は、あんまりいないかなあ。-012 学生^{がくせい}は、ときどきいるよね。-013 でも、やっぱり、おじさん。-014 中年^{ちゅうねん}の人ね。-015 今のわかい人が中年^{ちゅうねん}になつたら、どうなるのかな。

場面(2) ^{はな}話すクラウディア。

エレン -016 ^{しごと}仕事はどう？

クラウディア -017 うん、まあ、楽しいですね。

エレン -018 そう。

クラウディア -019 ええ。 -020 ^{しんせつ}みんな、親切だし。

エレン -021 こまったことは？

クラウディア -022 ^{しごと}ええと、^{じかん}仕事の時間がね、

エレン -023 ^{じかん}時間？

クラウディア -024 ^{しごと}はじ ^{じかん}仕事が始まる時間がきまってますけどお、

エレン -025 ああ。

クラウディア -026 ^{しゃいん}ひと 社員の人は、なかなか始めませんよねえ。

エレン -027 まあねえ。

クラウディア -028 そのかわり、すごくおそくまではたらくでしょ
う。

エレン -029 ^{ざんぎょう}残業ねえ。

クラウディア -030 それから、つきあいとか。

エレン -031 そうねえ。 -032 ……でも、わたしたちは、アルバイト
だから。

クラウディア -033 ええ。 -034 ^{さき}先に帰りますけどお、

エレン -035 うん。

クラウディア -036 ちょっとお、悪いような気がして。

エレン -037 ああ、そうか。

クラウディア -038 ^{かえ}帰りにくいんですよね。

場面(3) 話し合う二人。

エレン -039 おさしみってね、だめなの。

クラウディア -040 食べられないんですか。

エレン -041 ええ。-042 なんか、気持ち悪くて。

クラウディア -043 そうですか。

エレン -044 口に入れると、つめたくて。

クラウディア -045 うーん、まあねえ。

エレン -046 それから、へんなにおいがするでしょう。

クラウディア -047 たしかに、ちょっとにおいはあるけどお。

エレン -048 なまの魚はネコのえさ！

クラウディア -049 おいしいのになあ。

エレン -050 ほかのものは、たいていすき。

クラウディア -051 まあ、どこの国にも、かわった食べ物ってあるから。

エレン -052 ああ、人によってちがうかもしないね。

セグメント 34 すれ違い — 事情を話す —

(ストーリーIV 「恋人」(f))

登場人物 村井亜紀子 (大学4年生)

深沢良昭 (亜紀子の恋人)

場面(1) ショッピングモール。

電話の呼び出し音。

亜紀子 -001 はい、村井でございます。

深沢 -002 あ、あのう深沢ですが、亜紀子さん……。

亜紀子 -003 あ、……。

深沢 -004 あっこ？

亜紀子 -005 ……はい。

深沢 -006 よかった。 -007 すぐに電話できなくて、ごめん。

亜紀子 -008 きのう、4時だったよね。

深沢 -009 うん。 -010 ちょっと、おくれちゃったんだ。 -011 5分
ぐらい。

亜紀子 -012 わたしも2、3分おくれたけど、1階の入り口で待って
たのよ。

深沢 -013 うん。 -014 それがさ、ぼくが、場所をまちがえたらし
い。

亜紀子 -015 え？

深沢 -016 いちばん下がさ,

亜紀子 -017 ええ。

深沢 -018 1階だと思ったんだ。

亜紀子 -019 ああ、いちばん下は、地下1階なのよ。

深沢 -020 うん。ぜんぜん気がつかなかつたんだ。

亜紀子 -021 そう。

深沢 -022 ときどきは、上方も見たりしたんだけどね。

亜紀子 -023 わたしもね,

深沢 -024 うん。

亜紀子 -025 気になって、下へ見にいったの。

深沢 -026 ああ。

亜紀子 -027 けっこう動いてたから。

深沢 -028 ああ。

亜紀子 -029 たぶん、その時ね。

深沢 -030 うん、そうだね。

亜紀子 -031 あーあ。が一っかり。

深沢 -032 うん。

亜紀子 -033 せっかく楽しみにしてたのに。

深沢 -034 それでね,

亜紀子 -035 いま さっぽろ
今, 札幌?

深沢 -036 いや。それがね,

亜紀子 -037 とうきょう
東京なの?

深沢 -038 とうきょう
東京だよ。

亜紀子 -039 あ
じゃ, 会える?

深沢 -040 いま びょういん
今, 病院なんだ。

亜紀子 -041 えつ?



登場人物

男の子

母親

女の子 (幽霊)

場面(1) 夜8時すぎ。子供部屋。

男の子 -001 お母さーん、スタンドがきえた。

母親 -002 なあに？ -003 早くねなさいよ。

男の子 -004 ついたあ。

母親 -005 もうスタンドをけしなさい。

男の子 -006 うーん。…… -007 ぼうしがおちた。

母親 -008 早くねなさい。

母親 -009 何してるので。 -010 あんたがたおしたの？

男の子 -011 ちがうよ。 -012 たおれたんだよ。

母親 -013 これもおとして。

男の子 -014 ぼくじゃないよ。

母親 -015 どうしてこわすのお。

男の子 -016 ぼく、こわさない。 -017 自然にこわれたんだよ。

男の子 -018 ほら、切れた。

母親 -019 どうして。 -020 だれが切ったの。

女の子、オルゴールを鳴らす。母親、オルゴールを止め、ナップザックをひろう。女の子を見つけて、気をうしない、たおれる。

男の子 -021 お母さん！ (女の子を見つける) -022 出た……。

セグメント 36 インタビュー —き　て　はな　て—

(ストーリー I 「勉強」(j))

登場人物 張玉萍 (中国人, 大学留学生)

パチャリー・ラタナーワン (タイ人, 大学留学生, 張の)

日本語学校時代の同級生)

ミーチャ (ロシア人, 大学留学生, 張の日本語学校時代
の同級生)

武田芳子 (張の保証人の娘)

場面(1) ハイキングコース。

場面(2) 川原。

芳子 -001 ええ, それでは, ここでみなさんにインタビューをしてみ
ましょう。

張 -002 やあだ, 芳子さん, それ, なに?

芳子 -003 ええ, みなさんは, それぞれ大学に入学して, 6ヶ月たつ
たわけですが, 大学の生活はいかがでしょうか。-004 それでは,
まず張さん。

張 -005 あ, わたくしですか。-006 はい, 楽しくやっておりま
す。

芳子 -007 授業はむずかしいですか。

張 -008 そんなにむずかしくはありませんけど、日本人の名前とか、れきしのかんけいのことばとか、

ミーチャ -009 固有名詞ねえ。

張 -010 そう。-011 わからないよねえ。

芳子 -012 ありがとうございました。-013 それでは、パチャリーさんはいかがですか。

パチャリー -014 ええ、なんですか。

芳子 -015 大学の方は。

パチャリー -016 毎日行っています。

芳子 -017 いや、その、勉強はむずかしいですか。

パチャリー -018 はい、むずかしいです。-019 それから、りょうがとおくて、大学へ行くだけでつかれてしまいます。

ミーチャ -020 わたしの下宿はね、

芳子 -021 友達ができないって、言ってましたね。

パチャリー -022 んー、日本人の大学生は、授業が終わると、すぐに帰ってしまって、

芳子 -023 ああ。

パチャリー -024 話せないんです。

芳子 -025 そうですか。-026 そのへん、^{ちょうど}張さんはいかがですかあ。

張 -027 それにね、あまり授業に出ない学生がいるんですね。-028 ちょっとおどろきました。

ミーチャ -029 ああ、そうそう。-030 うちの大学も同じです。

芳子 -031 あんまり勉強してない。

ミーチャ -032 さあ、それはよくわかりません。

パチャリー -033 でもね、悪いけど、日本の大学生は、外国のこと、
あまり知らないんじゃないかなと思いますね。

芳子 -034 外国のこと？

ミーチャ -035 そうそう。-036 こないだもね、

芳子 -037 ちょっと待って。-038 パチャリーさん、どうぞ。

パチャリー -039 たとえば、タイはどこにあるか、知っています？

芳子 -040 ええと、だいたい。

ミーチャ -041 うん、もっともっと勉強しなければ。…… -042 は
い、歌います。



セグメント 37 まだ痛いですか — お見舞い —

(ストーリーIV 「恋人」(g))

とうじょう じんぶつ むらい あきこ だいがく ねんせい
登 場 人 物 村井亜紀子 (大学4年生)

ふかざわよしあき あ き こ こいびと
深沢良昭 (亜紀子の恋人)

みや た あい ふかざわ だいがく こうはい かん ごがくせい
宮田 愛 (深沢の大学の後輩) 看護学生 (ロシア人)

ひろかわ たけし にゅういんかんじや かなざわしょうじ にゅういんかんじや
広川 猛 (入院患者) 金沢省二 (入院患者)

場面(1) 病院。

宮田 -001 せーんぱい。

深沢 -002 ん? -003 ああ, きみか。

宮田 -004 ええ, 授業, さぼって来ちゃった。-005 どうですかあ。

深沢 -006 うん, まあまあ。

宮田 -007 まだ, 起きられないんですか。

深沢 -008 あと二, 三日は歩いちゃいけないって。

宮田 -009 退院は, いつごろになるんですか。

深沢 -010 あと十日ぐらいじゃないかなあ。

宮田 -011 ねえ, どうして事故にあったんですか。

深沢 -012 え, いや, ……ちょっと, 待ちあわせにおくれそうになつ
て。

宮田 -013 ふーん。

看護学生 -014 深沢さん、明日、もう一度けんさをしますから、午前
中に。

深沢 -015 はい。

看護学生 -016 9時半ごろに、よびに来ます。

深沢 -017 わかりました。

宮田 -018 それじゃ、あたしは。

深沢 -019 ああ。 -020 ……どうもありがとう。 (亜紀子に) -021 す
わって。

亜紀子 -022 お花。 -023 あ、こっち、おいとくわね。 -024 どこ、け
がしたんですか。

深沢 -025 ああ、うでは、たいしたことない。 -026 足は、ほねがお
れてて。

亜紀子 -027 いたいの?

深沢 -028 うん。 -029 まだ、ちょっとね。

亜紀子 -030 あたまは?

深沢 -031 あ、これはちょっとき切れただけ。

亜紀子 -032 ごめんなさい。 -033 わたし、ぜんぜん気がつかなかっ
た。

深沢 -034 いやあ、ぼくがまちがえたせいだから。

セグメント 3.8 夢なんです — 希望を述べる —

(ストーリーⅡ「友達」(j))

登場人物 王 崇梁 (中国人, 大学院生)

やまだ やすひろ だいがく じょしゅ
山田 康浩 (大学の助手)

場面(1) 大学の中。

王 -001 山田さん。

山田 -002 ああ、おはようございます。

王 -003 おそうしきの時は、どうも。

山田 -004 いやあ。いろいろたいへんだったでしょう。 -005 研究室
の整理なんかどうするんですか。

王 -006 ええ、林教授がなさるそうです。

山田 -007 内田先生がしどうなさっていた学生は?

王 -008 ほかの先生方が見てくださるそうですけど、朴さんなんか,
すっかり元気をなくしてしまって。

山田 -009 そうですか。 -010 内田先生、いい先生だったようです
ね。

王 -011 ええ、……わたしのれいの論文もね、読んでくださって,
これはひじょうにおもしろい、いいかんてんだって、はげましてく
ださったんですよ。

王 -012 国にとって、人がいちばん大切だと思うんです。-013 だから、教育学をやろうと思ったんです。-014 ……勉強しているうちに、学生をじっさいに教える先生をそだてることがとても重要だと気がついたんです。

山田 -015 それが、教育行政っていうわけですね。

王 -016 そうなんです。-017 わたしはね、国へ帰ったら、学校の先生たちのために研修のシステムを作りたいんです。-018 新しい教え方を勉強できるようにね。

山田 -019 ……たいへんな仕事なんなるでしょう。

王 -020 まあ、ゆめなんですよ。

山田 -021 ふーん。大きなゆめですよねえ。-022 王さん、今日は授業ですか。

王 -023 いえ、朴さんが話があるっていうんで。-024 11時に会うやくそくです。

山田 -025 じゃ、話がすんだら、ぼくのへやに来ませんか。

王 -026 え、あとでお電話します。

セグメント 39 ^き決めました — 決意を述べる —

(ストーリーⅡ「友達」(k))

とうじょう じんぶつ とう すうりょう ちゅうごくじん だいがくいんせい
登 場 人 物 王 崇梁 (中国人, 大学院生)

ぱく へファン かんこくじん だいがくいんせい とう せんぱい
朴 海煥 (韩国人, 大学院生, 王の先輩)

やま だやすひろ だいがく じょしゅ
山田 康浩 (大学の助手)

場面(1) セグメント 38 と同じ日, 午後4時ごろ。

王 (電話) -001 山田さん, ……ええと, 朴さんの話… …できたら
いらっしゃってもらいたいと思うんですが。-002 ……今, エス
ポワールにいるんです。-003 来ていただけますか。……

場面(2) スナック, エスポワール。

王 -004 朴さんはね, この大学をやめるって言うんです。

山田 -005 へえ。

朴 -006 来月からアメリカへ行きます。-007 シカゴの近くの私立
大学なんんですけど, いい先生がいるんです。

山田 -008 朴さんのテーマは, どんなことでしたっけ。

朴 -009 ええ。……教育には, かららずことばが使われるでしょ
う。-010 そのことばのことを研究したいんです。

山田 -011 ええと, 言語教育っていうことですか。

王 -012 いえ, 数学とか理科とか社会とか, ね。

朴 -013 数学を教えるときに、どんなことばでせつめいすればいいか、どんなふうにひょうげんすればわかりやすいか、といったことです。

山田 -014 なるほど。教育の手段としての言語。

朴 -015 それを研究していらっしゃったのが、内田先生でした。

山田 -016 ……ほかにしどうしてくれる人はいないんですか。

朴 -017 この大学ではむずかしいと思います。 -018 国へ帰ろうかとも思ったんですけどね。 -019 アメリカは、そういう研究がすすんでるんですよ。

場面(3) 話す3人。

山田 -020 パクさんに会えなくなると、さびしいなあ。

王 -021 ええ、もっといろんなことを話したかったなあ。

朴 -022 わたしもざんねんですけど、……でもね。 -023 ……また日本にも来ますよ。

山田 -024 せっかく友達なんだったんだから、これからもね。

王 -025 ええ、ずっと友達ですよね。

セグメント 40 これからも……—退院—

(ストーリーIV 「恋人」 (h))

とうじょう じんぶつ
登 場 人 物

むらい あきこ だいがく ねんせい
村井亜紀子 (大学4年生)

ふかざわよしあき あきこ こいびと
深沢良昭 (亜紀子の恋人)

かんご がくせい じん
看護学生 (ロシア人)

ひろかわ たけし にゅういんかんじや
広川 猛 (入院患者)

かなざわしょうじ にゅういんかんじや
金沢省二 (入院患者)

ひょういん
場面(1) 病院。

せ わ
深沢 -001 いろいろお世話になりました。

広川 -002 おめでとう。-003 おれ、まだしばらくかかりそうだよ。

せ わ
深沢 -004 お大事に。-005 金沢さんも、お大事に。

ふかざわ
金沢 -006 深沢さん、うらやましいよ。-007 ぼくももう退院したい
なあ。

深沢 -008 あせらないほうがいいよ。-009 ゆっくりなおしてね。

ふかざわ
看護学生 -010 あ、深沢さん、おうちの方はいらっしゃらないんです
か。

深沢 -011 ええ。-012 だいじょうぶですよ。

ふかざわ
看護学生 -013 そうですか。-014 じゃあ、荷物、持ちましょう、げ
んかんまで。

深沢 -015 あ、いや、いいんですよ。

看護学生 …… -016 あ、なんだ。-017 じゃ、いいですね。

せ わ
深沢 -018 お世話になりました。

亜紀子 -019 ぐあいはどう？

深沢 -020 うん、だいじょぶ。

亜紀子 -021 よかった。-022 じゃ、荷物。^{にもつ}

広川 -023 ほおー。

金沢 -024 わあー。

深沢 -025 行こう。^い

深沢 -026 それじゃ、お大事に。^{だいじ}

場面(2) 病院の前。^{ひょういんまえ}

亜紀子 -027 ほんとに、しんぱいしたんだから。

深沢 -028 いやあ、しっぱいしたよ。

亜紀子 -029 でも、よかつた、早くよくなつて。^{はや} -030 わたしとつき
あうのはほねがおれるでしょ。

深沢 -031 じょうだんじゃなくてさ。-032 ……これからもねえ。

-033 どうなるかなあ。

亜紀子 -034 だいじょうぶよ、しんじてるから。

深沢 -035 うん。-036 ……そうだね。

亜紀子 -037 だいじょぶよ。

場面(3) 走る車。^{はしくるま}

日本語教育映像教材初級編「日本語でだいじょうぶ」

作成関係者

(所属職名等は平成8年3月1日現在)

【日本語教育映画等企画協議会委員】

(所外委員) カッケンブッシュ寛子(国際基督教大学教授)

高木 裕子(山形大学助教授)

土井 真美(国立国語研究所客員研究員)

山下 早代子(国際基督教大学講師)

山元 啓史(筑波大学助手)

(国立国語研究所 相沢 正夫(日本語教育センター第1研究室長)

所内委員) 石井 恵理子(日本語教育研修室研究員)

熊谷 康雄(情報資料研究部第2研究室主任研究官)

杉戸 清樹(言語行動研究部第1研究室長)

【国立国語研究所内関係者】

水谷 修(所長)

甲斐 瞳朗(日本語教育センター長)

西原 鈴子(日本語教育指導普及部長)

中道 真木男(日本語教育教材開発室長)

熊谷 智子(日本語教育教材開発室主任研究官)

【企画・シナリオ執筆協力者】

有賀千佳子 稲葉みどり 小川早百合 北野美穂 黒野敦子

田中真理 玉置亜衣子 寺田裕子 土井真美 四方田千恵

日本語教育映像教材 初級編「日本語でだいじょうぶ」
シナリオ集
平成8年（1996年）3月25日発行
企画・監修 国立国語研究所
作 成 日本シネセル
発 行 株式会社インターミュニケーション
〒107 東京都港区赤坂 1-9-15
自転車会館
TEL 03-3589-4530
FAX 03-3589-4583

